

函館營林局ヒバ立木幹材積表

調 製 説 明 書

函 館 営 林 局

正 誤 表

- P.6 上から17行目 $\times b_2 X \dots \times b_2 X_2$
 P.6 下から13ヶ $+b_2 SX_{22} Y \dots +b_2 SX_2 Y$
 // // 9ヶ $+b_{11} X \dots +b_1 X_1$
 // // 7ヶ $Eyx_1 x_1 \dots Eyx_1 x_2$
 // $<Y\hat{\Phi} \dots <Y-\hat{Y}$
 P.7 下から 2ヶ 分母の1 $-Xr_1 X_{22} \dots 1-rX_1 X_{22}$
 P.8 // 4ヶ $[(\Sigma f) \dots [(\Sigma fr)]$
 p.9 上から 4ヶ $\frac{q}{\Sigma fr} \dots \frac{q^s}{\Sigma fr}$
 // // 10ヶ $\sum_i^4 \dots \sum_i^4$
 // // 6ヶ $(sd_y x_1 x_{22}) \dots (sd_y x_1 x_{22})$
 P.10 上から7ヶ $\sum_i^2 (S_{y_2})^i \dots \sum_i^2 (S_{y_2})^i$
 // // 10ヶ 分子のΣ(Sx_iy) $\dots \Sigma(Sx_1 y)$
 // // 12ヶ Σ(Sx_iy) $\dots \Sigma(Sx_2 y)_i$
 // 予備的分散分析表. 平均方和 \dots 平方和
 P.11 上から16ヶ $F = \frac{S'^2}{S^2} = 7802 * * > \frac{S''^2}{S^2} = 7.802$
 P.12 上から 9ヶ 差のないことがある \dots 差のないことが分る
 P.14 上から13ヶ $2.58 < F_{0.05} \dots 2.58 < F_{0.05}$
 P.15 4の6 材積使用上の注意 \dots 材積表使用上の注意
 P.16 上から2行目, 19~40mの木林高階 \dots 19~40mの樹高階
 // // 6ヶ 25%信頼度 \dots 95%信頼度
 // // 9ヶ $\frac{\text{誤差率}}{\sqrt{n}} \dots \frac{\text{誤差率}}{\sqrt{n}}$
 // // 11ヶ $\left\{ \frac{1}{2} \dots \right\} \frac{1}{2}$
 P.50 第8表 第8表 \dots 第7表
 P.52 第9表 第9表 \dots 第8表
 P.16 下から3ヶ 第9表 \dots 第8表
 P.36 下欄 $S_{y_2} \dots S_{\hat{y}_2}$
 P.38 B列1行目 $[X_1] 358.291 \dots 358.2391$
 P.40 下欄 $S_{yx_1 x_{22}} \dots S_{yx_1 x_{22}}$
 P.42 中欄C列下から2行目 $2.175541 \dots -2.175541$
 P.42 中欄1列1行目 $186.74301 \dots 186.74301$
 P.45 中欄下から2行目 $-1.43636 \dots -1.043636$
 P.46 左欄 $b_2 1.98910 \dots b_2 1.098910$
 // 下欄 $S_{\hat{y}} \dots S_{\hat{y}^2}$
 P.50 上欄 $SX_{12} \dots SX_{12}$
 P.51 中ヶ右から2列目 $S_{\hat{y}^2} - S_{y^2} \dots S_{\hat{y}^2} = S_{y^2}$
 // // 右から1列目 $(d^2) \dots (q^2)$
 P.55 右から5列目中欄 $1.450 \dots 1.456$

函館営林局ヒバ立木幹材積表

調整説明書

1. 緒 言

昭和22年の林政統一後、当局管内において使用中の立木幹材積表は、興林会北海道支部叢書第1輯、北海道立木幹材積表（林学博士中島広吉著）を使用しているが、一般に、この材積表と実材積とに多少の数値の差異があるのではないか、と云う批判があり、又昭和26年8月、林野第11,231号によつて「主要樹種立木材積表調製資料測定要綱」が成案されるに至つたので、当局としては、昭和28～30年度に亘り、この要綱によつて、ヒバの資料を集めた。追つて、昭和30年9月「主要樹種立木材積表調製要綱」の成案によつて、之に基いて調製作業を行い、ヒバ材積表の調製を終了したので、その調査方法並びに調査成績を取纏めて説明するものである。

なお、当局管内ヒバの分布は、江差・俄虫・営林署管内を主としているので、両営林署の協力を得て、1,891本の資料を求め、幹材積表調製を作製した。

この材積表調製に当り、御指導を賜つた林業試験場大友測定研究室長、林驗北海道支場長内研究室長、並に関係営林署長および署員各位に対し、深甚なる謝意を表するものであります。

昭和36年4月

函館営林局

目 次

1. 緒 言	3
2. 適用地域及び、その根拠	4
1. 地勢及び地質	4
2. 気 候	4
3. 当局のヒバ林に対する経営方針	4
3. 材積表調製資料	5
1. 資料収集地域	5
2. 資料の選定及び調査方法	5
3. 資料の整理	5
4. 材積表の調製	6
1. 調製方法の決定	6
2. 材積式の計算	6
3. 資料の吟味	6
4. 乗却後の材積式の計算	7
5. 10cm 直径級別 材積式の比較	8
I. 分散の一様性の検定	8
II. 回帰係数間の差の検定と回帰平面の高さの差の検定	10
III. 検定の結果と材積式の決定	14
6. 材積表使用上の注意	15
7. 材積表の適合度	16
8. 新材積表と旧材積表、平均材積表との比較	16
5. 調製年月日及び調製担当者職氏名	17
6. 引用並に参考文献	17

附表及び附図

2. 適用地域及びその根拠

本材積表は当局管内全域の天然林及び人工林のヒバに適用するものであるが、管内ヒバの分布は次表の通り一部に偏している。

ヒバ蓄積分布表 (昭和31年度)

事業区	蓄積量 m ³	比率 %
函館	9,360	1.9
木古内	3,300	0.7
江差	272,680	54.4
俄虫	215,250	43.0
計	500,590	100.0

之等の分布地域の立地条件は、おおよそ類似するものと思われ、更にヒバ林に対する取扱方針も近似しているので、本材積表は、これらの地域の国有林のヒバを対照として調製した。

2の1. 地勢および地質

管内は北海道渡島半島の全域を占める山岳地帯で、大千軒岳(1,072m)遊樂部岳(1,276m)狩場山(1,520m)を結ぶ渡島山脈と、後方羊蹄山(1,893m)駒ヶ岳(1,140m)と続く那須火山系の火山脈が走っていて、極めて複雑な地勢をなしている。

地質は黒松内地溝帯より東部一帯は大部分安山岩よりなり、一部洞爺湖附近に石英粗面岩を見る。渡島山脈を東南西に分けて、内浦湾に面した所は新第二紀層。津軽海峡側は大部分が安山岩。一部石英粗面岩。一部古成層を見る。日本海側は殆んど新第三紀層で、大千軒岳より厚沢部川上流地帯に亘って古成層がみられる。ヒバはこの渡島山脈の古成層地帯によく分布している。

2の2. 気候

海洋性気象の影響をうけ、北海道にあつては、比較的温暖な区域に属している。気象状況の大要は年平均5.5°~9.5°C、年平均最高気温10.4°~12.3°C、年平均最低気温0.8°~7.0°C、である。

降水量は1,000~2,000mm程度で、各地域の降雪量は、俱知安185cm、江差38cm、函館38cmであり、初霜10月上旬、終霜5月中旬となつている。

2の3. ヒバ林に対する経営方針

ヒバ林は江差事業区(旧上の国経営区)俄虫事業区(旧館・桧山経営区)に多く分布し、面積6,000haで、当局管内天然生林面積の2%に過ぎないが、ブナを主体とする当局では特有且、比較的重要な林分である。

経営方針としては(35年度編成方針)人工造林の期待出来る林分については(天然更新可能林分を含む)極力皆伐を行い他樹種の人工林を造成する。

その他の林分は、第1択伐用材林施業団として、20~40%の択伐を行いその更新については、現地の状況に応じ必要ある場合、地床処理、天然種樹の林内移植等の人工補正を加える。

3. 材積表調製資料

本調製に使用したヒバの資料は、昭和28. 29. 30年度にわたって調査したもので、全部が主伐（抾伐）箇所において集められたものである。

3の1. 資料収集地域

資料収集箇所は、次表および第一図の通りである。

資料収集箇所径級別本数

署	材班	4~10	12~20	22~30	32~40	42~50	52~60	62~70	72~80	計
江 差	109い	10	9	28	44	20	6	1	1	119
	81い	137	118	101	55	13	1	0	0	425
	339い ろ	308	137	20	1	1	0	0	0	467
	23い	1	34	129	111	28	10	1	0	314
俄 虫	229い	0	5	48	32	8	3	0	0	96
	231い	0	21	78	200	125	36	8	2	470
計		456	324	404	443	195	56	10	3	1,891

3の2. 資料の選定及び調査方法

資料の選定および調査方法は調製要綱に基いて実施したが、本調査における概要は次の通りである。

- (1) 調査木は胸高直径4cm以上のものについて、なるべく各直経階にわたって選定した。
- (2) 胸高直径は地上1.2m（北海道は従来1.3mの箇所を測定しているので、地上1.3mも測定）の位置において、輪尺により樹幹の2方向を測定した数値の平均とした。単位はmmまで読みとった。
- (3) 樹高は地際より稍端までの長さを測定し、cmまでよみ、m単位として、単位以下2位を4捨5入して単位以下1位にとめた。
- (4) 幹材積の算出に際しては、区分材積および、梢頭材積ごとに算出し、それぞれの材積を合計して、幹材積とした。フーベルの区分求積の例により、樹幹にそつて、先づ地際より上に1mの箇所、以下順次2m増す毎にその箇所の皮付直径を測定した。

なお、2m毎に測定した最後の位置から、稍端までの長さが3m未満となつた場合は、その上1mの箇所の直径を測定し、あわせてこの点から稍端までの長さを測定した。そして2m区分のフーベル区分求積式および円錐体求積法で算出した。

幹材積算出に必要な直径の測定は、胸高直径の測定に準じ、材積はm³単位により単位以下5位まで求め5位を4捨5入して4位にとめた。

- (5) 材積計算に使用した円面積はm²単位とし単位以下5位を4捨5入して4位にとめた。

3の3. 資料の整理

収集した資料を、箇所別・径級別に取りまとめたものは、前記の通りであるが、各調査木の直径階・樹高階別・本数を表示すると、第1表の通りである。

4. 材積表の調製

4の1. 調製方法の決定

材積表の調製方法には形数法、共線图表等あるが、中でも多く用いられている実験式により直接材積を求める方法を採用した。

実験式は、山本和藏氏の使用した材積式を用いた。今両面対数方眼紙に幹材積対樹高、幹材積対胸高直径をプロットすれば、第2、3図の通りであつて大体直線関係にあることが分った。

即ち $V \propto D^{b_1}$

但し $V = \text{幹材積}, D = \text{胸高直径}$

$V \propto H^{b_2}$

$H = \text{樹高}, b_1 \cdot b_2 = \text{常数}$

の関係があるとみることができる。従つて幹材積が胸高直径と樹高の二因子により変化するとすれば

$V \propto d^{b_1} h^{b_2}$

よつて山本和藏氏による一般材積式が適當である。

$$V = ad^{b_1} h^{b_2} \dots \dots \dots \quad (1)$$

(1) 式の対数をとれば

$$\log V = \log a + b_1 \log d + b_2 \log h \dots \dots \dots \quad (2) \text{ で表わされる。}$$

4の2. 材積式の計算

(2) 式において $\log V = Y, \log d = X_1, \log h = X_2$ とすれば

$$Y = a' + b_1 X_1 + b_2 X_2$$

この式の a', b_1, b_2 (常数) を検算付最小二乗法で求める。

正規方程式は次の通りであり、計算過程は第2表の通りである。

- 1) $na' + b_1 SX_1 + b_2 SX_2 = SY$
- 2) $a' SX_1 + b_1 SX_1^2 + b_2 SX_1 X_2 = SX_1 Y$
- 3) $a' SX_2 + b_1 SX_1 X_2 + b_2 SX_2^2 = SX_2 Y$
- 4) $a' SY + b_1 SX_1 Y + b_2 SX_2 Y = SY^2$

4の3. 資料の吟味

第2表で求めた b_1, b_2 を用いて全資料について

$Y - \hat{Y}$ を計算する。

$$\hat{Y} = a' + b_1 X_1 + b_2 X_2 \text{ であるから}$$

$$\hat{Y} = -4,115746 + 1,871829 X_1 + 0,891773 X_2$$

次式により棄却帶を計算し、 $E_{yx_1 x_2} < Y \hat{Y}$ となる資料を棄却した。

$$E_{yx_1 x_2} = t \cdot S_{yx_1 x_2} \left[1 - \left\{ \frac{1}{n} + C_{22} (X_1 - \bar{X}_1)^2 + C_{33} (X_2 - \bar{X}_2)^2 + 2C_{23}(X_1 - \bar{X}_1)(X_2 - \bar{X}_2) \right\} \right]^{\frac{1}{2}}$$

但し C 乗数は

$$C_{11} = 0,011255$$

$$C_{12} = -0,003209$$

$$C_{22} = 0,039838$$

この吟味の結果棄却された資料は第3表の通りで、これら棄却したものを除いた資料の直径階・樹高階別の本数分配を示したものが第4表Ⅰで、これの平均材積表が第4表のⅡである。

4の4. 棄却後の材積式の計算

吟味を終った資料1,796本を用いて、前項と同要領により回帰係数の標準偏差および有意性の検定並に重相関・偏相関係数の計算・検定を行つた。

計算過程は第5表の通りである。

回帰係数の標準偏差及び有意性の検定

$$C_{11} \text{ 乗数は } C_{11} = 0.012464$$

$$C_{22} = 0.045735$$

$$C_{12} = -0.002787$$

$$\text{回帰係数 } b_1, b_2 \text{ は } b_1 = 1.847796$$

$$b_2 = 0.927972$$

1) 回帰係数の標準偏差

$$sb_1 = s_y \cdot x_1 x_2 \sqrt{C_{11}} = 0.0052921$$

$$sb_2 = s_y \cdot x_1 x_2 \sqrt{C_{22}} = 0.0101374$$

2) 回帰係数の有意性の検定

$$tb_1 = b_1 / sb_1 = 349,1612 **$$

$$tb_2 = b_2 / sb_2 = 91,5394 **$$

この結果回帰係数は極めて有意である。

重相関係数と偏相関係数

重相関係数・立木幹材積表調製要綱解説書33-34頁にならつて計算したものを第7表に掲上したが、この有意性を検定すると次の通りである。

変動因	自由度	平方和	平均平方
回 帰	2	1049.313559	524.656779
推 定 の 誤 差	1793	4.029180	0.002247

$$F = \frac{524.656779}{0.002247} = 2.334921134 **$$

この結果、重相関係数は極めて有意である。したがつて重回帰式 $y = a + d^{b_1} h^{b_2}$ は極めて有意である。以上の結果よりこの材積式は妥当なものと考えられる。

偏相関係数・2つの偏相関係数も極めて有意であるが次式でみる通り樹高の変動を無視した場合の材積：直径と、直径の変動を無視した場合の材積：樹高の関係は前者が大で、後者が小であつて、材積に及ぼす影響が大であることを表している。

$$\tau Y X_1 \cdot X_2 = \frac{\tau Y X_1 - \tau Y X_2 \cdot \tau X_1 X_2}{\sqrt{(1-\tau Y X_2^2)(1-\tau X_1 X_2^2)}} = 0.977579$$

$$\tau Y X_2 \cdot X_1 = \frac{\tau Y X_2 - \tau Y X_1 \cdot \tau X_1 X_2}{\sqrt{(1-\tau Y X_1^2)(1-\tau X_1 X_2^2)}} = 0.875591$$

4の5. 10cm直径級別材積式の比較

調製要綱に基き 10cm 每直径級に区分して材積式を計算し、その後において統計的方法で一括出来る直径級を検定の上、支障のない直径級は一括して材積式を求めた。但し 52cm 以上は資料不足の為当初より一括した。検算付最小二乗法で、直径級毎に計算したものが、第 6 表（その1～その6）で、又、各種検定を行う為に必要な平方和、積和、相関係数等を取りまとめ第 7 表に掲上した。

4の5のI. 分散の一様性の検定

分散の一様性の検定に必要な因子を次表に掲げる。

直 径 級	n	f_r	$\frac{(q^2)}{S_{dy} x_1 x_2^2}$	$S_{y x_1 x_2^2}$
4 ~ 10	412	409	1.063226	0.002600
12 ~ 20	302	299	0.903846	0.003023
22 ~ 30	390	387	0.724067	0.001871
32 ~ 40	437	434	0.713828	0.001645
42 ~ 50	191	188	0.306205	0.001629
52 ~ 76	64	61	0.103301	0.001693
4 ~ 76	1,796	1,778 (1,793)	3.814473 (4.029180)	0.002247

$\log(s_{y x_1 x_2^2})$	$f_r \cdot \log(s_{y x_1 x_2^2})$	$\frac{I}{f_r}$
3.41497	- 1,057.27727	0.002444
3.48044	- 753.34844	0.003344
3.27207	- 1,055.70891	0.002583
3.21617	- 1,208.18222	0.002304
3.21192	- 524.15904	0.005319
3.22866	- 169.05174	0.016393
3.35160	- 4767.72762	0.000595

回帰係数間の差の検定を行うに先だつて各直径級の分散が一様であるかどうかを検定する為 Bartlett の検定を行つた。

今各直径級の偏差平方和 $s_{dy x_1 x_2^2}$ を $q_1^2, q_2^2, \dots, q_k^2$ 自由度を f_1, f_2, \dots, f_k とし
また $q^2 = q_1^2 + q_2^2 + \dots + q_k^2$ $f = f_1 + f_2 + \dots + f_k$

$$\text{とすると } S^2 = \frac{q^2}{f} \quad S_{r^2} = \frac{q_r^2}{f_r} \quad x^2 = \frac{1}{M} \left[(\Sigma f) (\log s^2) - \Sigma f_r \log s_{r^2} \right]$$

$$\text{但し } M = \log 10^e = 0.43429 \quad \therefore \frac{1}{M} = 2.3026$$

$$\text{この値を修正項 } C \text{ で除して } x^2 = \frac{2.3026}{C} \left[(\Sigma f_r) (\log s^2) - \Sigma f_r \log s_{r^2} \right]$$

但し $C = 1 + \frac{1}{3(k-1)} \cdot [\frac{1}{f_r} - \frac{1}{f}]$ で与えられ、 x^2 は自由度 $(k-1)$ の x^2 一分布にしたがうので、

算出された x^2 の値と x^2 表の値とを比較した。

(K……クラス表)

(1) 4 ~ 76 cm の直径級を一括した場合 (これからの計算に必要な因子は第 7 表)

$$s^2 = \frac{q}{\sum f_r} = \frac{3.814473}{1.778} = 0.002145 \quad \sum f_r \times \log s^2 = 1778 \times \log (0.002145) \\ = 1778 \times \bar{3.33143} = 1778 \times (-2.66857) = -4744.71746$$

$$\text{修正 } x^2 = \frac{2.3026}{c} \left[-4744.71746 - (-4767.72762) \right] = \frac{2.3026}{1.002122} \times 23.01016 = 52.8710$$

$$\text{但し } C = 1 + \frac{1}{3 \times 5} (0.032387 - \frac{1}{1778}) = 1.002122 \quad \text{よつて, この値に相当する } P(x^2) \text{ は } 0.01 \text{ 以下}$$

であるから分散が一様であると云う, 仮説は捨てられる, この結果 4 ~ 76 cm 直径級は一括出来ないことが分った。

(2) 22 ~ 76 cm 直径級を一括した場合

$$q^2 = \sum_i^4 (sd y x_1 x_2)^2 = 1.847401$$

$$s^2 = \frac{q^2}{\sum f_r} = \frac{1.847401}{1,070} = 0.0017265$$

$$\sum f_r \times \log s^2 = 1070 \times \bar{3.237167} = 1070 \times -2.762833 = -2956.231310$$

$$\text{修正 } x^2 = \frac{2.3026}{C} (-2956.231310 + 2957.101910) = \frac{2.3026}{1.002852} \times 0.8706 = 1.998944 = 2.00$$

$$\text{但し } C = 1 + \frac{1}{3 \times 3} (0.026601 - \frac{1}{1070}) 1.002852$$

x^2 の自由度は $4 - 1 = 3$

この値に相当する $P(x^2)$ は 0.5 以上であるから分散が一様であると云う仮説は捨てられない。

(3) 4 ~ 20 cm 直径級を一括した場合

$$q^2 = \sum_i^2 (sd y x_1 x_2)^2 = 1.967072$$

$$s^2 = \frac{q^2}{\sum f_r} = \frac{1.967072}{708} = 0.0027783$$

$$\sum f_r \log s^2 = 708 \times \bar{3.443779} = -1.809.804468$$

$$\text{修正 } x^2 = \frac{2.3026}{C} (-1,809,804468 + 1,810,62571) = \frac{2.3026}{1,001459} \times 0,821242 = 1,8882$$

$$\text{但し } C = 1 + \frac{1}{3 \times 1} (0,005788 - \frac{1}{708}) = 1,001459 \quad \text{この値に相当する } P(x^2) \text{ は約 } 0.20 \text{ であるから, 分散}$$

が一様であると云う仮説は捨てられない。

(4) 12 ~ 76 cm 直径級を一括した場合

$$q^2 = \sum_i^5 (sd y x_1 x_2)^2 = 2,751247$$

$$s^2 = \frac{q^2}{\sum f_r} = \frac{2.751247}{1369} = 0.0020096$$

$$\sum f_r \times \log s^2 = 1,369 \times \bar{3.30311} = -3692.042410$$

$$\text{修正 } x^2 = \frac{2.3026}{C} (-3692,042410 + 3710,45035) = \frac{2.3026}{1,002434} \times 18.40794 = 42,283038$$

$$\text{但し } C = 1 + \frac{1}{3 \times 4} (0,029942 - 0,000732) = 1,002434 \quad \text{よつてこの値に相当する } P(x^2) \text{ は } 0.01 \text{ 以下}$$

であるから分散が一様であると云う仮説は捨てられる。

4の5のⅡ. 回帰係数間の差の検定と回帰平面の高さの差の検定

分散の一様性の検定において、等分散と認められた $4\sim20cm$, $22cm\sim76cm$ の直径級について、回帰係数の差の検定と、それによる回帰平面の高さの差の検定結果を次に述べる。

(1) $4\sim20cm$ 直径級を一括した場合

$$\sum_i^2 (Sx_1^2)_i = 7,006797 \quad \sum_i^2 (Sx_2^2)_i = 15,364364$$

$$\sum_i^2 (Sx_1 x_2)_i = 6,166483 \quad \sum_i^2 (Sx_1 y)_i = 18,282722$$

$$\sum_i^2 (Sx_2 y)_i = 24,658871 \quad \sum_i^2 Sy_2)_i = 57,081677$$

$$\sum_i^2 (S\hat{y}^2) = 55,114605 \quad \sum_i^2 f_r = 708$$

$$q^e = \Sigma (Sdyx_1 x_2^2) = 1,967072$$

$$b_1 = \frac{\Sigma (x_2^2) \Sigma (Sx_1 y) - \Sigma (Sx_1 x_2) \Sigma (Sx_2 y)}{\Sigma (Sx_1^2) \Sigma (Sx_2^2) - \Sigma (Sx_1 x_2)^2} = 1,850422$$

$$b_2 = \frac{\Sigma (Sx_1^2) \Sigma (Sx_2 y) - \Sigma (Sx_1 x_2) \Sigma (Sx_1 y)}{\Sigma (Sx_1^2) \Sigma (Sx_2^2) - \Sigma (Sx_1 x_2)^2} = 0,862273$$

$$S\hat{y}^2 = b_1 \times \Sigma (Sx_1 y)_i + b_2 \times \Sigma (Sx_2 y)_i = 55,093429$$

a) 回帰係数間の差の検定

上掲の数値を用いて分散分析を行つた。

予備的分散分析表

変動因	自由度	平均方和
回 帰	4	55,114605
誤 差	708	1,967072
計	712	57,081677

分散分析表

変動因	自由度	平 方 和	平均平方
全回帰	2	55,093427	
回帰間差	2	0,021178	0,010589
回帰計	4	55,114605	
誤差	708	1,967072	0,0027783
計	712	57,081677	

$$F = \frac{0,010589}{0,0027783} = 3.81 > F(0.05) = 3.00$$

よつて回帰係数間に有意差のあることが分る。

b) 念のため、回帰常数間の検定を行つてみた。

資料を込みにした場合の分散分析表

但し, $b_1 = 1,884258$ $b_2 = 0,861185$ $n = 714$

変動因	自由度	平方和	平方和	f_r
回 帰	2	170,211971	誤 差	1,988747
回帰間差	2	0,008429	原因不明	1,967072
誤 差	709	1,988747	平面間差	0,021675
計	713	172,209147		1

完成された分散分析表

変動因	自由度	平方和	平均平方
回 帰	2	170,211971	—
回帰間差	2	0,008429	—
平面間差	1	0,021675	0,021675
不 明	708	1,967072	0,0027783
計	713	172,209145	

$$F = \frac{S_{\text{reg}}^2}{S_p^2} = 7802 > F(0.01) = 6,66$$

よつて 4~20 cm 直径級は一括できないことがわかつた。

(2) 22~76 cm 直径級を一括した場合

$$\sum_i^4 (Sx_1^2)_i = 1,606100 \quad \sum_i^4 (Sx_1 y)_i = 3,766749$$

$$\sum_i^4 (Sx_2^2)_i = 4,053289 \quad \sum_i^4 (Sx_2 y)_i = 5,746472$$

$$\sum_i^4 (Sx_1 x_2)_i = 0,787770 \quad \sum_i^4 (Sy^2)_i = 14,831980$$

$$\sum_i^4 (S\hat{y}^2)_i = 12,984579 \quad \sum_i^4 f_r = 1070$$

$$q^2 = \Sigma (Sd y x_1 x_2^2) = 1,847401$$

$$b_1 = 1,823754 \quad b_2 = 1,063278 \quad S\hat{y}^2 = 12,979721$$

a) この数値を用いて分散分析を行つた結果は

予備的分散分析表

変動因	自由度	平方和
回 帰	8	12,984579
誤 差	1,070	1,847401
計	1,078	14,831980

分散分析表

変動因	自由度	平方和	平均平方
全回帰	2	12,979721	
回帰間差	6	0,004858	0.0008097
回帰計	8	12,984579	
誤差	1.070	1,847401	0.0017265
計	1.078	14.831980	

$$F = 0.469 < \frac{F}{1070} (0.05) = 2.10$$

従つて22~76 cmにおいて直径級間に回帰係数の差のないことがある。念のため逆数を求めてみると

$$F = 2.13 < \frac{1070}{6} (0.05) = 3.67$$

b) 回帰常数間の差の検定

資料を込みにした場合の分散分析表

$$b_1 = 1.755719 \quad b_2 = 1.076951$$

変動因	自由度	平方和
回帰	2	65.255253
回帰間差	6	0.004858
誤差	1.073	1.872452
計	1.081	67.132563

	平方和	自由度
誤差	1,872452	1.073
原因不明	1,847401	1.070
平面間差	0,025051	3

完成された分散分析表

変動因	自由度	平方和	平均平方
回帰	2	65.255253	—
回帰間差	6	0.004858	—
平面間差	3	0.025051	0.008353
不明	1.070	1.847401	0.0017265
計	1.081	67.132563	

$$F = \frac{S_{xy}^2}{S_x^2} = 4.8365 > \frac{s}{F}_{1070} (0.01) = 3.80$$

回帰平面間に有意差があるので、この直径級は一括出来ないことが分る。

(3) 32~76 cm 直径級を一括した場合

$$\sum_i^8 (Sx_2^2)_i = 0.740806 \quad \sum_i^8 (Sx_2 y)_i = 1.718418$$

$$\sum_i^8 (Sx_1 x_2)_i = 0.281233 \quad \sum_i^8 (Sx_1 y)_i = 1.634495$$

$$\sum_i^8 (Sx_2 y)_i = 2.322725 \quad \sum_i^8 (Sy^2)_i = 6.531653$$

$$\sum_i^8 (S\hat{y}^2)_i = 5.408319 \quad \sum_i^8 f_r = 683$$

$$q^2 = \sum (Sd_y x_1 x_2^2) = 1.123334$$

$$b_1 = 1.805410 \quad b_2 = 1.056195 \quad S\hat{y}^2 = 5.404184$$

a) この値を用いて回帰係数間の差の検定を行つた。

予備的分散分析表

変動因		自由度 平方和		
回 帰		6		5.408319
誤 差		683		1.123334
計		689		6.531653

分散分析表

変動因	自由度	平方和	平均平方
全回帰	2	5.404184	
回帰間差	4	0.004135	0.0010335
回帰計	6	5.408319	
誤差	683	1.123334	0.0016447
計	689	6.531653	

$$F = \frac{0.0010335}{0.0016447} = 0.6284 < \frac{4}{683} (0.05) = 2.38$$

念のために逆数をとつてみると、 $F = 1.5915 < \frac{683}{4} = 5.64$

b) 回帰常数間の差の検定

資料を込みにした分散分析表

$$b_1 = 1.710561 \quad b_2 = 1.061686 \quad n = 692$$

変動因	自由度	平方和		平方和	自由度
回 帰	2	17.521324	誤 差	1.131834	685
回帰間差	4	0.004135	不 明	1.123334	683
誤 差	685	1.131834	平面間差	0.008500	2
計	691	18.657293			

完成された分散分析表

変動因	自由度	平方和	平均平方
回 帰	2	17.521324	
回帰間差	4	0.004135	
平面間差	2	0.008500	0.0042500
不 明	683	1.123334	0.0016447
計	691	18.657293	

$$F = 2.58 < \frac{F}{983} (0.05) = 3.00$$

よつて回帰係数及び、回帰平面間の高さに差のないことが分る。従つて 32~76 cm 直径級は一括出来る。

4の5のⅢ. 検定の結果と材積式の決定

以上の検定の結果を集約すると下表の通りである。

直径級	本数	修正 X^2	回帰係数				F	
			平均された回帰係数		回帰間分散	誤差分散		
			b_1	b_2				
4 以上	1.796	52.871						
4 ~ 30	1.104		1.834727	0.894923	0.025794	0.002458	10.49*	
4 ~ 20	714	1.888	1.850422	0.862273	0.010589	0.002778	3.81*	
12 以上	1.384	42.283						
12 ~ 30	692		1.840855	0.954614	0.020816	0.002373	8.77*	
22 以上	1.082	1.999	1.823754	1.063278	0.000810	0.001727	0.47	
32 以上	692		1.805410	1.056195	0.001034	0.001645	0.63	

直径級			回帰常数 間の差の検定				
			b''_1	b''_2	平面間の差の分数	不明原因	F
22 以上			1.755719	1.076951	0.008350	0.001838	4.543*
32 以上			1.710561	1.061686	0.004250	0.001645	2.583

求められた直径級別材積式は次の通りである。

決 定 材 積 式	但し v ……幹材積 d ……胸高直径 h ……樹高
-----------	--

直 径 級	本 数	材 積 式
4 ~ 10 cm	412	$\log v = -4.054355 + 1.853532 \log d + 0.831151 \log h$
12 ~ 20	302	$\log v = -4.118851 + 1.862972 \log d + 0.903761 \log h$
22 ~ 30	390	$\log v = -4.283461 + 1.839403 \log d + 1.067306 \log h$
32 ~ 76	692	$\log v = -4.081557 + 1.710561 \log d + 1.061686 \log h$

なお本材積式の計算は、直径・樹高・材積を夫々対数に変換して計算しているために生ずる偏りを含んでいるので、修正係数を計算して、修正しなければならない。

修正係数の算出は

$$f = 10^{\frac{h-1}{h}} (1.151293) \operatorname{slog} y^2$$

但し f ……修正係数 n ……資料の数

$\operatorname{slog} y^2$ ……対数による推定値の誤差の分散

これによつて求めた直径級別修正係数は

直 径 級	修 正 係 数
4 ~ 10 cm	1.0069
12 ~ 20	1.0080
22 ~ 30	1.0050
32 ~ 76	1.00437

4の6. 材 積 使 用 上 の 注 意

- (1) 本表は函館営林局管内のヒバに適用するものである。
- (2) 本表は毎木の胸高直径（地上1.2m）樹高を測定して幹材積を求めるものである。
- (3) 本表は胸高直径 2cm・樹高 1m 毎に区分し、幹材積は m^3 を単位とし 4捨5入して単位以下3位に止めたもの。
- (4) 本表は次の材積式で算出した値に修正係数を重じて求めた値である。

直 径 范 围	材 積 式	修 正 係 数
4 ~ 10	$\log V = -4.054355 + 1.853532 \log D + 0.831151 \log H$	1.0069
12 ~ 20	$\log V = -4.118851 + 1.862972 \log D + 0.903761 \log H$	1.0080
22 ~ 30	$\log V = -4.283461 + 1.839403 \log D + 1.067306 \log H$	1.0050
32 ~	$\log V = -4.081557 + 1.710561 \log D + 1.061686 \log H$	1.00437

(5) 本表の中で、材積式間の移行にアンバラの数値があつた部分は3点平均法で、修正した。

修正部分は、20~22 cm 直径階の 5m~15m の樹高階と 18, 20, 22cm 階の 19~40m 木林高階である。

4の7. 材 積 表 の 適 合 度

木材積表の適合度を誤差率によつて示すと次の通りである。

$$\text{誤差率 \%} = \frac{\text{標準誤差} \times t}{\text{平均値}} \times 100$$

$t = 25\%$ 信頼度の t 分布表の値

本材積式は対数を用いた式を採用したが、誤差率は真数で求めたものである。この誤差率は単木の誤差率であつて林分に適用する時には次式を以つて求める。

$$\sqrt{\frac{\text{誤差率}}{n}} \quad (95\% \text{ 信頼度})$$

なお、標準誤差は次式によつた。

$$\text{標準誤差} = \sqrt{\frac{1}{n-(k+1)} \cdot \sum (V - \hat{V})^2} \cdot \sqrt{\frac{z}{2} \cdot \frac{1}{n}}$$

V ……実材積 \hat{V} ……材積表材積 K ……独立変量の個数

直 径 範 囲	本 数	不 偏 分 数	標 準 誤 差	誤 差 率 %
4 ~ 10	412	0.00000687	0.0001291	1.29
12 ~ 20	302	0.00027829	0.0009599	1.54
22 ~ 30	390	0.00226126	0.0024079	0.97
32 以 上	692	0.01525333	0.0046949	0.74

4の8. 新材 積 表 と 旧材 積 表 との 比 較

既述した方法により、新しく調製したヒバ材積表と当局で現行使用中の材積表の数値を比較するため、直径階別・樹高10m, 20m, 30m 毎に比較を第9表及び図表で示した。

但し、現行材積表は、1.3m の胸高直径であり、新材積表は1.2m の胸高直径である。

なお、新材積表と平均材積表との比較を図表で示した。

5. 調製年月日および調製担当者職氏名

1. 調製年月日 昭和34年4月30日

2. 調製担当者職氏名

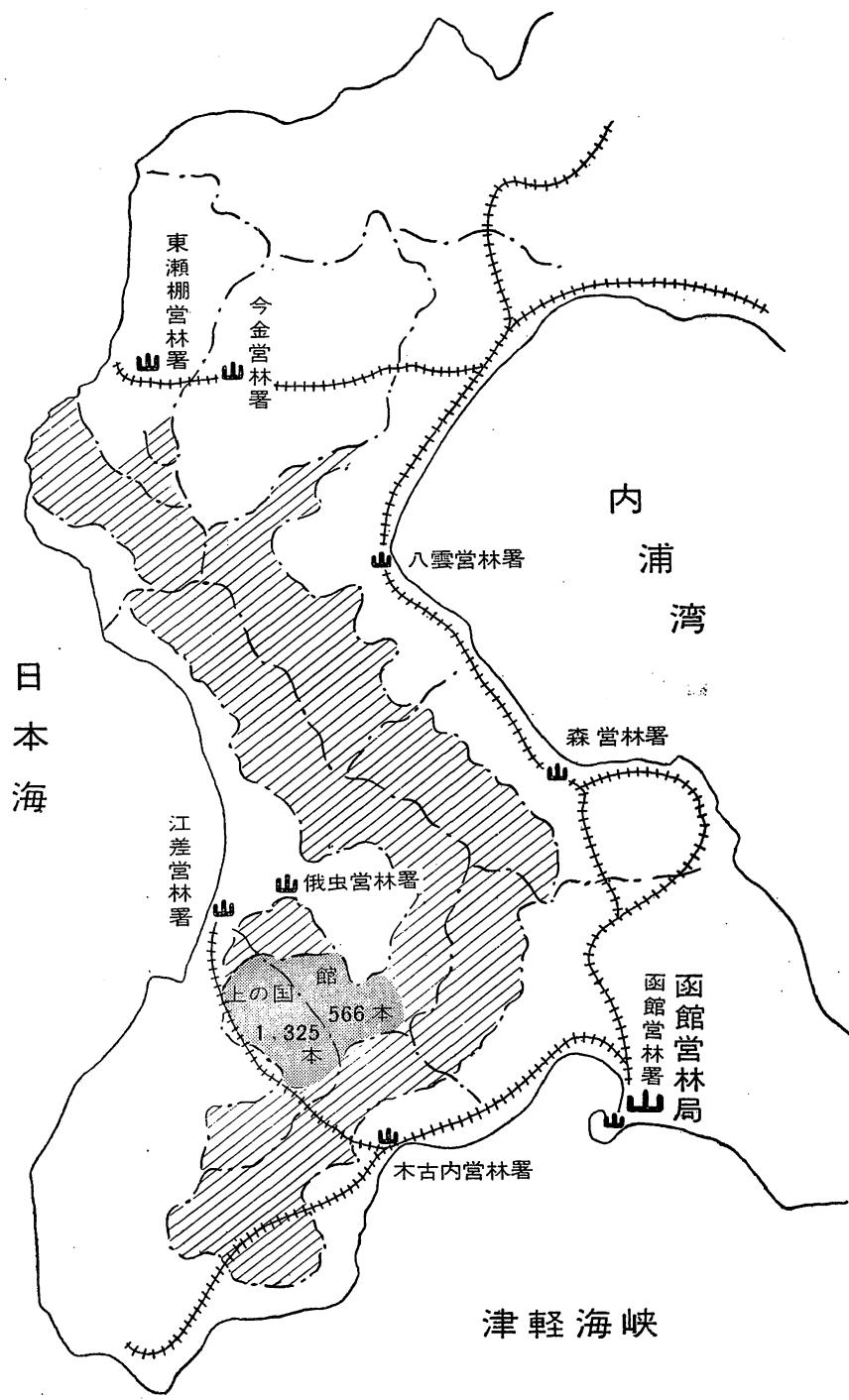
計画課長	長井 啓三
前計画課長	小畠 俊吉
試験調査係長	諫訪 寒行
係員(元)	白鳥 吉勝
〃(〃)	鈴木 勇
〃(現)	鎌田 陽子
〃(〃)	木村 弘子

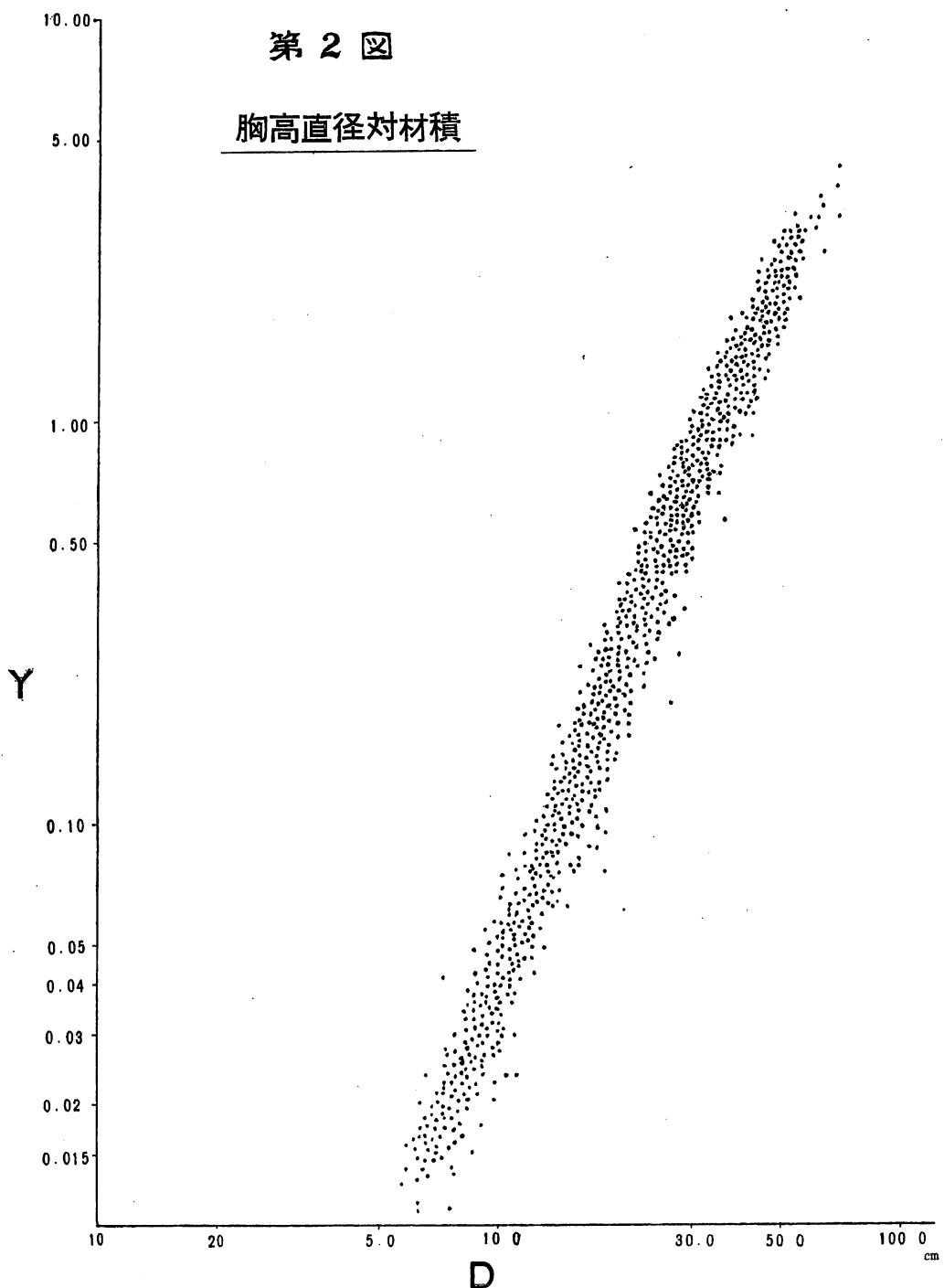
6. 引用並に参考文献

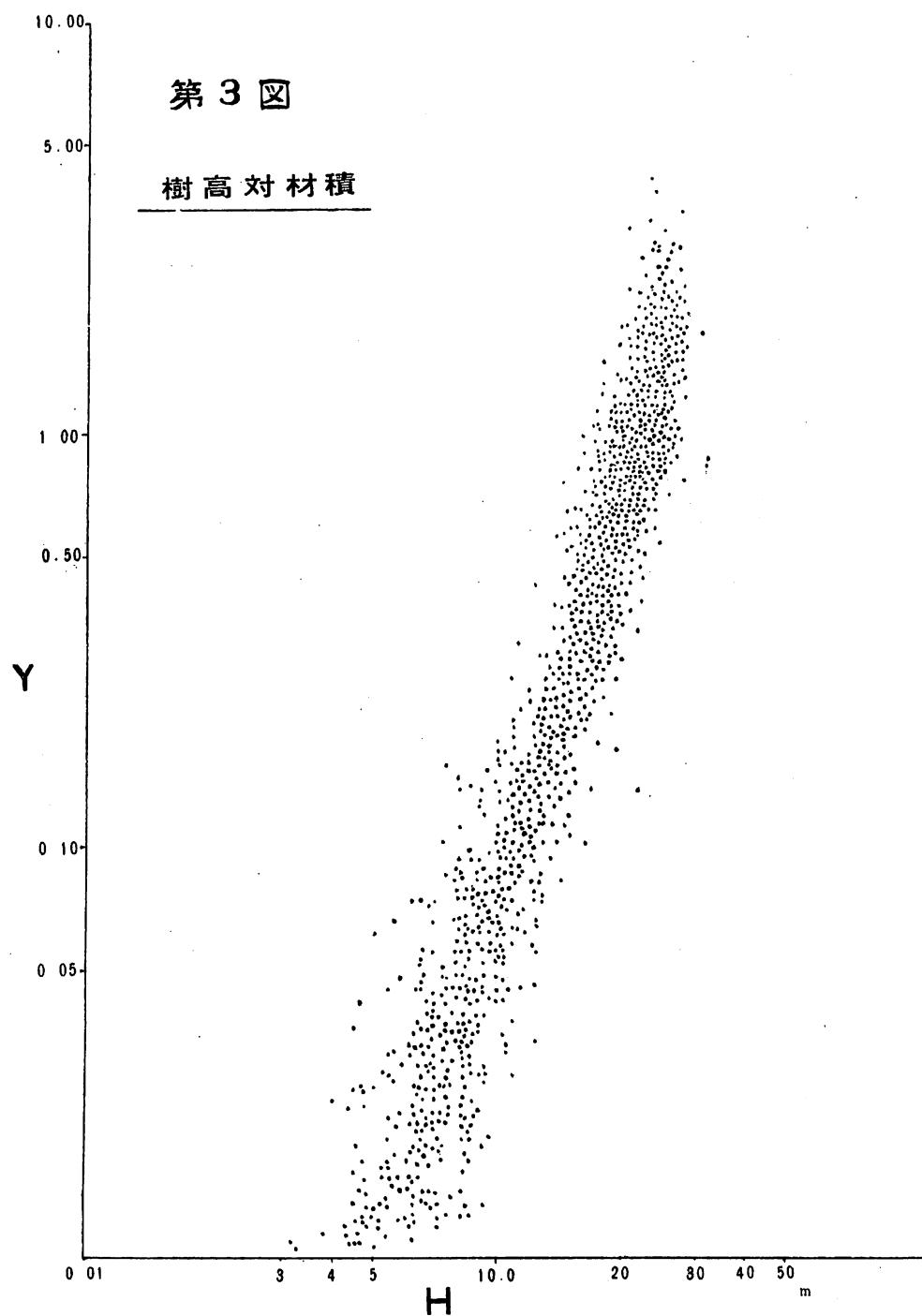
1. 兩館営林局管内概要(昭和31年)
2. 主要樹積立木材積表調製要綱…林野庁
3. 立木材積表調製方法解説書……林業試験場
4. 推計学を基とした測樹学……木梨鎌吉
5. 青森営林局広葉樹立木材積表
調製説明書(昭和32年)…林野庁
6. 長野営林局カラマツ立木材積表
調製説明書(昭和33年)…林野庁

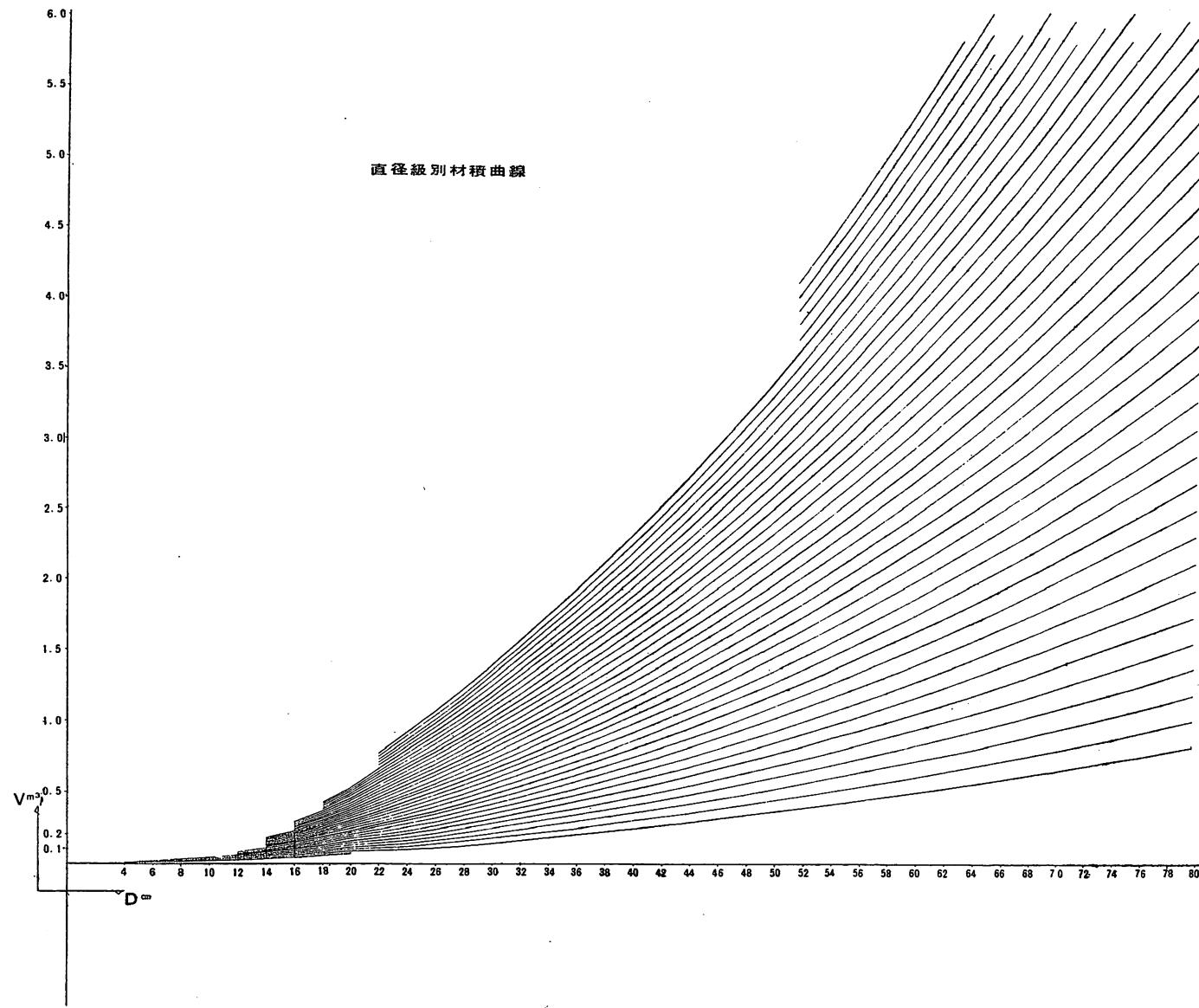
附表
及び
附圖

第1図
資料収集箇所位置図

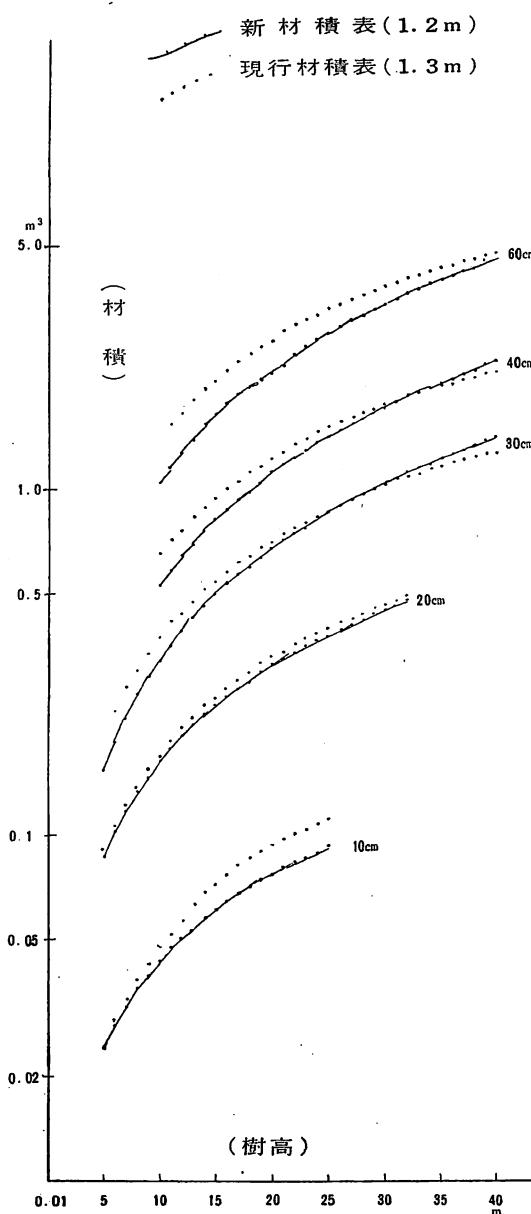






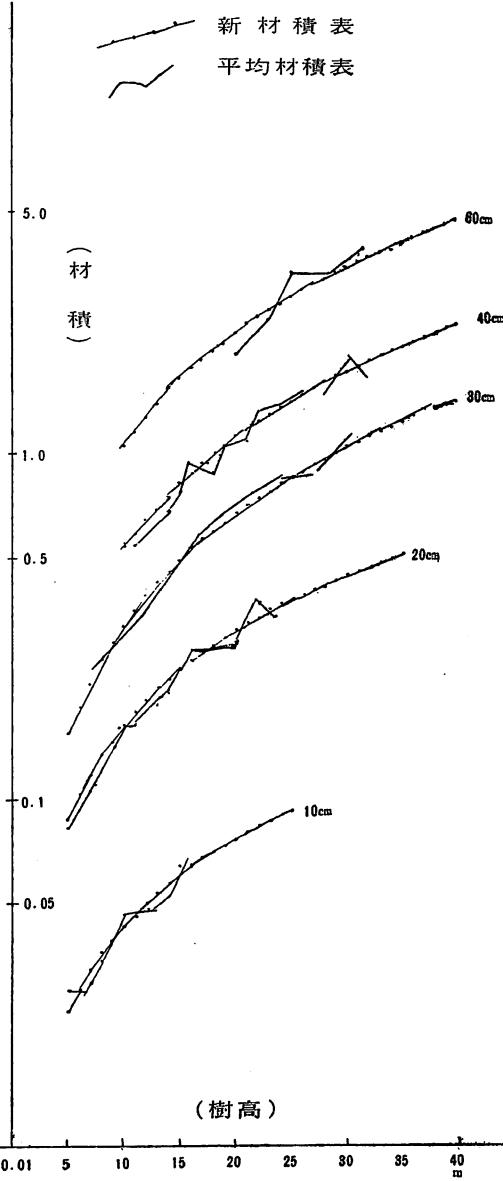


新旧材積表の比較



新材積表と平均材積表

との比較



第1表 直径階(D)樹高別(H)本数表 (資料棄却前)

H m	D cm 4	D cm 6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	40
2	1	5																	
3	14	17	5	1		1													
4	11	30	8	3	1														
5	3	40	28	12	3	2	1		1		1								
6	3	27	34	14	9	2		1											
7	17	33	30	15	4	2	1	1					1						
8	3	15	19	17	9	6	3	3		1		1							
9	4	19	29	12	11	11	4	3				1							
10	1	3	8	9	18	2	3	3		1		1							
11		3	9	5	9	6	5	3	4		1	1	1						
12			1	9	11	7	3	3											
13		1	3	5	6	8	3	1	5	3		1			1	1			
14				1		2	7	3	4	4	2	1	4						
15					1	2	6	4	12	4	6	8	3	5	2		1		
16						1		5	7	8	17	9	2	4	1	5	1		
17							2	1	6	11	11	19	9	12	8	9	3	1	
18									5	10	19	11	10	16	17	9	4	1	3
19									6	7	7	10	22	12	18	12	13	5	4
20									3	3	5	8	9	16	8	16	8	10	5
21										2	4	5	10	15	15	19	17	6	7
22										1	1	5	6	7	13	16	13	11	15
23							1				2		4	11	18	16	23	13	9
24													2	3	1	3	4	8	3
25												1	1	2	4	4	1	8	
26														2	2	3	5	4	
27																1		2	
28																1			
29																	2		1
30																			
31																			
32																			
33														2					
計	32	144	150	130	86	80	58	36	64	56	80	80	85	103	107	112	97	65	62

42	44	46	48	50	52	54	56	58	60	62	64	66	68	70	72	76	78	80	計
																			6
																			38
																			53
																			91
																			90
																			104
																			77
																			94
																			49
																			47
																			34
																			38
																			29
																			55
																			63
																			99
2	3	1																	110
3	3	1																	124
4	3		3	1															104
12	4	2	2		1	1													124
12	6	4	4	4	6	4	1												129
13	11	6	7	3			4	2					2	1					146
7	8	10	3	11	6	3	1	1	1					1					78
5	5	7	3	5	7		1	1					1						57
1	3	3			2	2	2						2						31
	3	2		1	1			1						1					11
		1																	4
																			4
																			2
59	48	37	26	25	25	15	9	6	1	6	1	2	0	1	1	2	0	0	1.891

第2表 検算付最小二乗法による回帰係数、
標準誤差の計算（棄却前）

$$\log v = \log a + b_1 \log d_1 + b_2 \log d_2$$

$$(Y = a' + b_1 X_1 + b_2 X_2)$$

(直径4cm~76cm)

		A	B	C	D
1		[n] 1.891	[X ₁] 2478.5630	[X ₂] 2131.5052	[Y] -1242.61404
2		[X ₁] 2478.5630	[X ₁ ²] 3418.338156	[X ₁ X ₂] 2926.246099	[X ₁ Y] -1193.048218
3		[X ₂] 2131.5052	[X ₁ X ₂] 2926.246099	[X ₂ ²] 2523.964342	[X ₂ Y] -1044.502085
4		[Y] -1242.61404	[X ₁ Y] -1193.048218	[X ₂ Y] -1044.502085	[Y ²] 1955.958022
5	I × - $\frac{x_1}{n}$ -1.31071549	-2478.5630	-3248.690917	-2793.796883	1628.713470
II	2 + 5	0	Sx ₁ ² 169.647239	Sx ₁ x ₂ 132.449216	Sx ₁ y 435.665252
6	I × - $\frac{x_2}{n}$ -1.12718414	-2131.5052	-2793.796883	-2402.598856	1400.654838
	3 + 6	0	132.449216	121.365486	356.152753
7	II × - $\frac{Sx_1 x_2}{Sx_1^2}$ -0.78073311		-132.449216	-103.407488	-340.138287
III	3 + 6 + 7		0	17.957998	16.014466
8	I × - $\frac{y}{n}$ +0.65712006	+1242.61404	1628.713470	1400.654838	-816.546613
	4 + 8	0	435.665252	356.152753	1139.411409
9	II × - $\frac{Sx_1 y}{Sx_1^2}$ -2.56806568		-435.665252	-340.138287	-1118.816982
	4 + 8 + 9			16.014466	20.594427
10	III × - $\frac{\eta}{\xi}$ -0.89177346		0	-16.014466	-14.281276
IV	4 + 8 + 9 + 10			0	Sd _{y x₁x₂} ² 6.313151
b ₂	0.891773				
b ₁	1.871829				
a'	-4.115746				

正規方程式

$$\left\{ \begin{array}{l} 1. \quad na' + b_1 SX_1 + b_2 SX_2 = SY \\ 2. \quad a' SX_1 + b_1 SX_1^2 + b_2 SX_1 X_2 = SX_1 Y \\ 3. \quad a' SX_2 + b_1 SX_1 X_2 + b_2 SX_2^2 = SX_2 Y \\ 4. \quad a' SY + b_1 SX_1 Y + b_2 SX_2 Y = SY_2 \quad (\text{検算式}) \end{array} \right.$$

C ₂	C ₁	C ₃	計
1			
	1		
		1	
-1.310715			
-1.310715	1		
-1.127184			
-1.127184		1	
-1.023319	-0.780733		
-0.103865	-0.780733	1	
0.657120			
0.657120			
3.366002	-2.568066		
4.023122	-2.568066		
0.092624	0.696237	-0.891773	
4.115746	-1.871829	-0.891773	
<hr/>			
$Syx_1 x_2^2 = \frac{6.313151}{1891 - 3} = 0.00334383$			

第3表 壊却された資料

資料番号	直径階	直 径	樹 高	材 積	資料番号	直径階	直 径	樹 高	材 積
1.620	4	4.3	2.0	0.0030	1.001	8	8.5	9.0	0.0226
1.261	4	4.8	4.4	0.0071	1.014	8	7.5	9.6	0.0188
1.534	4	4.5	2.9	0.0050	1.021	8	8.8	6.5	0.0178
1.579	4	4.0	2.6	0.0045	1.026	8	7.5	6.6	0.0134
1.625	6	6.5	2.1	0.0072	1.051	8	8.0	6.1	0.0126
1.651	6	5.0	2.8	0.0060	1.375	10	10.2	6.0	0.0209
1.586	6	6.8	9.3	0.0133	1.614	10	9.3	4.5	0.0253
1.596	6	6.8	2.3	0.0091	1.621	10	9.5	6.8	0.0207
1.429	6	5.9	5.0	0.0125	1.277	10	9.1	6.3	0.0185
1.498	6	5.3	4.4	0.0112	989	10	9.0	8.9	0.0246
1.500	6	5.6	4.5	0.0083	1.039	10	9.8	10.6	0.0336
1.573	6	5.3	4.1	0.0088	1.073	10	10.3	8.9	0.0296
1.584	6	5.3	2.1	0.0044	1.118	10	10.8	9.5	0.0304
1.292	6	6.3	2.5	0.0072	1.131	10	9.0	12.6	0.0336
934	6	6.0	6.2	0.0084	1.180	10	9.5	10.1	0.0310
1.004	6	6.0	6.2	0.0152	1.598	10	10.3	5.8	0.0198
1.040	6	5.8	6.7	0.0082	1.639	12	11.5	4.9	0.0233
1.070	6	5.8	6.8	0.0078	1.339	12	11.1	6.7	0.0495
1.186	6	6.5	10.0	0.0144	1.379	12	11.9	5.9	0.0274
1.594	8	7.3	6.0	0.0111	863	12	12.5	8.2	0.0752
1.290	8	7.7	6.1	0.0118	1.042	12	11.0	11.6	0.0456
1.306	8	8.9	5.5	0.0282	1.044	12	11.8	12.3	0.0548
1.398	8	7.1	8.6	0.0128	1.430	12	12.4	7.1	0.0361
1.438	8	8.0	4.1	0.0172	1.510	12	12.3	6.1	0.0736
1.606	8	8.8	4.7	0.0254	1.665	14	13.0	5.3	0.0579
1.649	8	7.5	7.5	0.0123	1.133	14	14.8	13.1	0.0940
1.236	8	7.0	2.5	0.0089	1.166	14	14.5	12.4	0.0788
1.242	8	8.5	6.1	0.0342	1.179	14	13.3	14.0	0.0752

資料番号	直階径	直 径	樹 高	材 積	資料番号	直階径	直 径	樹 高	材 積
1.185	14	13.5	10.6	0.0570	209	38	37.9	16.9	0.5689
1.334	16	15.4	6.5	0.0460	543	40	39.5	19.5	1.4395
1.517	16	16.5	8.3	0.1432	952	44	43.0	24.7	1.1684
1.536	16	15.3	7.0	0.0410	426	46	45.0	26.7	2.3884
1.565	16	15.0	7.6	0.0493	1.313	46	46.4	13.5	0.5827
1.654	18	18.0	7.9	0.1419	215	48	47.2	22.7	1.2881
1.333	18	18.0	6.4	0.0676	1.711	52	52.0	17.0	1.1259
1.530	18	17.3	8.7	0.0843	1.844	52	52.8	17.3	1.2206
1.030	20	19.5	13.5	0.1410	163	56	56.5	15.8	1.2618
1.410	20	20.6	8.3	0.0954	750	66	66.8	24.1	2.5366
1.113	22	21.3	14.6	0.3824	368	70	69.8	24.8	2.7340
1.164	22	22.0	18.1	0.2312					
1.933	22	22.0	13.4	0.1925					
1.175	24	24.5	18.1	0.3032					
1.353	24	24.9	7.8	0.1437					
1.754	26	26.0	8.0	0.4689					
1.964	26	25.8	16.8	0.3240					
1.968	26	26.5	16.3	0.3240					
1.552	28	28.9	13.1	0.3170					
136	28	27.8	14.0	0.2494					
1.714	30	29.3	16.8	0.4220					
1.873	30	30.0	19.1	0.4654					
1.198	30	30.3	18.7	0.4570					
480	30	29.5	22.0	0.8899					
1.756	32	32.0	18.4	0.4941					
1.903	32	32.0	18.3	0.5174					
184	32	31.8	17.4	0.4615					
1.841	36	36.5	14.9	0.5368					

第4表の I 直径階樹高階別本数(棄却後)

H m	D cm	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38
2		2																	
3	12	15	4	1		1													
4	10	28	7	3	1	0													
5	3	38	27	11	2	1	1		1		1								
6	3	25	29	11	7	2				1									
7		15	31	29	13	4			1	1									
8		3	14	19	16	9	4		2	2									
9		3	17	27	12	11	11	3	3				1						
10			2	7	9	18	2	3	3			1	1						
11			3	7	5	8	6	5	3	4			1	1					
12				1	7	10	7	3	3										
13				1	2	5	6	8	3	1	4	3					1	1	
14					1			7	3	3	4	2	1	3					
15						1	2	6	4	12	3	6	8	3	5	2			
16							1	2	5	7	8	17	8	2	4	1	5	1	
17								2	1	6	11	11	18	9	11	7	9	3	2
18										5	9	18	11	10	16	15	9	4	1
19										6	7	7	10	22	10	18	12	13	5
20										3	3	5	8	9	16	8	16	8	10
21											2								
22											1		1	5	6	6	13	16	11
23							1					2			4	11	18	16	23
24														2	3	1	3	4	8
25														1	1	2	4	4	1
26														2	2	2	3	5	
27																1			
28																	1		2
29																			
30																			
31																			
32																			
33																			
計		28	129	136	119	78	75	54	33	62	53	78	77	83	99	104	112	96	64

	40	42	44	46	48	50	52	54	56	58	60	62	64	66	68	70	72	76	計
																			2
																			33
																			49
																			85
																			77
																			95
																			69
																			88
																			46
																			44
																			31
																			35
																			24
																			53
																			61
1		2																	93
3	2	3																	106
4	3	3	1																122
4	4	3		3	1														103
7	12	4	2	2		1	1	1										1	124
15	12	6	4	4	4	6	4	1											128
9	13	11	6	6	3														145
3	7	8	10	3	11	6	3	1	1	1	1							2	77
8	5	4	7	3	5	7													55
4	1		3	3		2	2	2											31
2		3	1		1	1													10
1			1																4
																			4
																			2
61	56	47	35	25	25	23	15	8	6	1	6	1	1	0	0	1	2		1.796

第4表 II 直径階(D) 樹高階(H) 別材積表(棄却済資料)

D cm	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36
H m																	
2	0.004																
3	0.004	0.005	0.010	0.013		0.027											
4	0.004	0.008	0.010	0.013	0.022	0.024											
5	0.006	0.010	0.014	0.027	0.040	0.061	0.066		0.074	0.153							
6	0.006	0.012	0.018	0.028	0.037	0.058											
7	0.012	0.020	0.029	0.045	0.071		0.086	0.092				0.190					
8	0.014	0.024	0.035	0.051	0.069	0.085	0.100	0.133									
9	0.017	0.019	0.038	0.055	0.073	0.085	0.121	0.138		0.207							
10	0.023	0.047	0.062	0.081	0.116	0.109	0.155		0.241	0.218							
11	0.032	0.048	0.065	0.093	0.118	0.132	0.150	0.179		0.186	0.260	0.337					
12	0.046	0.073	0.102	0.130	0.184	0.169											
13	0.035	0.052	0.074	0.100	0.147	0.175	0.208	0.237	0.247				0.434	0.552			
14	0.059		0.147	0.172	0.226	0.224	0.320	0.436	0.429								
15		0.081	0.125	0.157	0.205	0.242	0.277	0.329	0.365	0.370	0.466	0.564					
16	0.040		0.121		0.216	0.253	0.296	0.340	0.422	0.430	0.539	0.536	0.653	0.681			
17			0.204	0.211	0.263	0.328	0.363	0.433	0.477	0.530	0.618	0.700	0.823				
18					0.284	0.350	0.400	0.457	0.491	0.600	0.634	0.741	0.829				
19					0.295	0.341	0.406	0.488	0.538	0.638	0.682	0.782	0.834				
20					0.280	0.378	0.471	0.509	0.600	0.683	0.736	0.833	0.895				
21					0.364		0.456	0.554	0.636	0.693	0.780	0.862	1.029				
22					0.318		0.434	0.614	0.670	0.715	0.859	0.937	0.978				
23				0.140			0.448		0.701	0.742	0.882	0.971	1.085				
24										0.629	0.870	0.949	0.955	1.100			
25										0.679	0.800	0.846	0.990	1.194			
26												0.973	1.080	1.262			
27														1.088			
28														1.478			
29																	
33												0.862					

第5表 梗却後の検算付最小二乗法による回帰係数と標準誤差の計算

(直径4~76cm) $(Y = a' + b_1 X_1 + b_2 X_2)$

	A	B	C	1
1	$[n]$ 1796	$[X_1]$ 2371.0764	$[X_2]$ 2043.2272	$[Y]$ -1127.18310
2	$[X_1]$ 2371.0764	$[X_1^2]$ 3287.234236	$[X_1 X_2]$ 2819.501839	$[X_1 Y]$ -1084.860538
3	$[X_2]$ 2043.2272	$[X_1 X_2]$ 2819.501839	$[X_2^2]$ 2434.740132	$[X_2 Y]$ -954.533769
4	$[Y]$ -1127.18310	$[X_1 Y]$ -1084.860538	$[X_2 Y]$ -954.533769	$[Y_2]$ 1760.771329
5 I	$\times -\frac{X_1}{n}$ -1.32019844	-2371.0764	-3130.291364	-2697.465362
II	$2 + 5$	0	Sx_1^2 156.942872	$Sx_1 x^2$ 122.036477
5 II	$\times -\frac{X_2}{n}$ -1.13765434	-2043.2272	-2697.465362	-2324.486292
III	$3 + 6$	0	Sx_2^2 122.036477	$Sx_2 y$ 110.253840
7	$\times -\frac{Sx_1 x_2}{Sx_2}$ -0.77758534		-122.036477	-94.893775
III	$3 + 6 + 7$		ξ 0	η 15.360065
8 I	$\times -\frac{Y}{n}$ 0.62760752	1127.18310	1488.105370	1282.344746
IV	$4 + 8$	0	$Sx_2 y$ 403.244832	Sy_2 327.810977
9 II	$\times -\frac{Sx_1 y}{Sx_2^2}$ -2.56937334		-403.244832	-313.557270
IV	$4 + 8 + 9$		0	14.253707
10 III	$\times -\frac{\eta}{\xi}$ -0.92797179			-14.253707
VII	$4+8+9+10$		0	$Sd_{yx_1 x_2}$ 4.029180
b ₂	0.927972		$S_{yx_1 x_2^2} = 0.002247$	
b ₁	1.847796		$S_{y_2} = 1.049.313559$	
a'	-4.122776			

C_2	C_1	C_3	計
1			
	1		
		1	
-1.320198			
-1.320198	1		
-1.137654			
-1.137654		1	
1.026567	-0.777585		
-0.111087	-0.777585	1	
$+0.627608$			
$+0.627608$			
3.392082	-2.569373		
4.019690	-2.569373		
0.103086	0.721577	-0.927972	
4.122776	-1.847796	-0.927972	

第6表 棄却後の直径級別最小二乗法(検算付)による
(その1) 回帰係数と標準誤差の計算

$$\log v = \log a + b \log b + b \log h$$

$$(Y = a' + b_1 X + b_2 X_2)$$

(直径4~10cm)

		A	B	C	1
1		[n] 412	[X ₁] 358.291	[X ₂] 318.5040	[Y] -741.66166
2		[X ₁] 358.2391	[X ₁ ²] 316.295770	[X ₁ X ₂] 281.053358	[X ₁ Y] -632.566336
3		[X ₂] 318.5040	[X ₁ X ₂] 281.053358	[X ₂ ²] 255.535670	[X ₂ Y] -557.998131
4		[Y] -741.66166	[X ₁ Y] -632.566336	[X ₂ Y] -557.998131	[Y ²] 1371.760152
5	I × -	X ₁ n -0.86951238	-358.2391	-311.493332	-276.943171 644.883995
II		2 + 5	0	Sx ₁ ² 4.802438	Sx ₁ x ₂ 4.110187 12.317659
6	I × -	X ₂ n -0.77306796	-318.5040	-276.943171	-246.225238 573.354867
		3 + 6	0	4.110187	Sx ₂ ² 9.310432 15.356736
7	II × -	Sx ₁ x ₂ Sx ₁ ² -0.85585426		-4.110187	-3.517721 -10.542121
III		3 + 6 + 7		0	ξ 5.792711 η 4.814615
8	I × -	Y n +1.80014966	741.66166	644.883995	573.354867 -1335.101985
		4 + 8	0	Sx ₂ y 12.317659	Sy ₂ 15.356736 36.658167
9	II × -	Sx ₁ y Sx ₂ -2.56487621		-12.317659	-10.542121 -31.593271
		4 + 8 + 9		0	4.814615 5.064896
10	III × -	η ξ -0.83115056			-4.814615 -4.001670
IV		4 + 8 + 9 + 10		0	Sd _{y x₁ x₂} ² 1.063226
b ₂		0.831151			Sy _{x₁ x₂} ² = $\frac{1.063226}{412-3} = 0.002600$
b ₁		1.853532			
a'		-4.054355			S \hat{y} ² = 36.658167 - 1.063226 = 35.594941

C ¹	C ²	C ³	計
1	1	1	
-0.869512			
-0.869512	1		
-0.773068			
-0.773068		1	
0.744176	-0.855854		
-0.028892	-0.855854	1	
1.800150			
1.800150			
2.230191	-2.564876		
4.030341	-2.564876		
0.024014	0.711344	-0.831151	
4.054355	-1.853532	-0.831151	

第6表

(その 2)

(直径12~20cm)

	A	B	C	1
1	[n] 302	[X ₁] 356.4469	[X ₂] 311.6578	[Y] -298.17801
2	[X ₁] 356.4469	[X ₁ ²] 422.914269	[X ₁ X ₂] 369.902180	[X ₁ Y] -345.970790
3	[X ₂] 311.6578	[X ₁ X ₂] 369.902180	[X ₂ ²] 327.678383	[X ₂ Y] -298.411450
4	[Y] -298.17801	[X ₁ Y] -345.970790	[X ₂ Y] -298.411450	[Y ²] 314.827898
5	I × $\frac{X_1}{n}$ -1.18028775	-356.4469	-420.709910	-367.845884
II	$\frac{2+5}{X_2}$	0	S _{x₁x₂}	S _{x₁y}
6	I × $\frac{X_2}{n}$ -1.03197947	-311.6578	2.204359	2.056296
7	$\frac{3+6}{S_{x_1}x_2}$ -0.93283172	0	-367.845884	-321.624451
III	$\frac{3+6+7}{Y}$	0	S _{x₂²}	S _{x₂y}
8	I × $\frac{Y}{n}$ 0.98734440	298.17801	351.935853	307.713585
9	$\frac{4+8}{S_{x_1}y}$ -2.70603064	0	5.965063	9.302135
10	$\frac{4+8+9}{\xi}$ -0.90376144	0	-5.965063	-5.564400
IV	4+8+9+10			20.423510
b ₂	0.903761	S _{y x₁ x₂²}	$\frac{0.903846}{302-3} = 0.003023$	
b ₁	1.862972	S _{y²}	$= S_{y^2} - S_{dy x1 x2} = 20.423510 - 0.903846$	
a'	-4.118851			19.519664

C_2	C_2	C_s	計
1			
	1		
		1	
<hr/>			
-1.180288			
	-1.180288	1	
	-1.031979		
	-1.031979	1	
1.101010	-0.932832		
0.069031	-0.932832	1	
0.987344			
0.687344			
3.193895	-2.706030		
4.181239	-2.706030		
-0.062388	0.843058	-0.903761	
4.118851	-1.862972	-0.903761	
<hr/>			

第6表

(その3)

(直径22cm~30cm)

		A	B	C	1
1		[n] 390	[X ₁] 553.4779	[X ²] 488.0462	[Y] -131.58590
2		[X ₁] 553.4779	[X ₁ ²] 786.346795	[X ₁ X ₂] 693.129064	[X ₁ Y] -184.611047
3		[X ₂] 488.0462	[X ₁ X ₂] 693.129064	[X ₂ ²] 613.076135	[X ₂ Y] -161.242915
4		[Y] -131.58590	[X ₁ Y] -184.611047	[X ₂ Y] -161.242915	[Y ²] 52.697375
5	I × - $\frac{X_1}{n}$ -1.41917410	-553.4779	-785.481501	-692.622527	186.74301
II	$\frac{2+5}{X_2}$	0	Sx ₁ ² 0.865294	Sx ₁ x ₂ 0.506537	Sx ₁ y 2.132254
6	I × - $\frac{X_2}{n}$ -1.25140051	-488.0462	-692.622527	-610.741264	164.666662
7	II × - $\frac{3+6}{Sx_1 x_2}$ -0.58539294	0	0.506537	Sx ₂ ² 2.334871	Sx ₂ y 3.423747
III	$\frac{3+6+7}{Y}$	0	0	2.038348	2.175541
8	I × - $\frac{n}{0.33739974}$	131.58590	186.743301	164.666662	-44.397048
9	II × - $\frac{4+8}{Sx_1^2 y}$ -2.46419598	0	2.132254	Sx ₂ y 3.423747	Sy ² 8.300327
10	III × - $\frac{\eta}{\xi}$ -1.06730598		-2.132254	-1.248206	-5.254292
IV	4 × 8 + 9 + 10		0	2.175541	3.046035
b ₂	1.067306		S _y x ₁ x ₂ ² = 0.001871		
b ₁	1.839403		S \hat{x}^2 = 7.576260		
a'	-4.283461				0.724067

C ₂	C ₁	C ₀	計
1	1	1	
-1.419174			
-1.419174	1		
-1.251401			
-1.251401		1	
0.830774	-0.585393		
-0.420627	-0.585393	1	
0.337400			
0.337400			
3.497123	-2.464196		
3.834523	-2.464196		
0.448938	0.624793	-1.067306	
4.283461	-1.839403	-1.067306	

第6表

(その4)

(直径32~40cm)

	A	B	C	I
1	$[n]$ 437	$[X_1]$ 675.6949	$[X_2]$ 578.3069	$[Y]$ -13.49187
2	$[X_1]$ 675.6949	$[X_1^2]$ 1045.265141	$[X_1 X_2]$ 894.408003	$[X_1 Y]$ -19.705552
3	$[X_2]$ 578.3069	$[X_1 X_2]$ 894.408003	$[X_2^2]$ 766.598327	$[X_2 Y]$ -16.092757
4	$[Y]$ -13.49187	$[X_1 Y]$ -19.705552	$[X_2 Y]$ -16.092757	$[Y^2]$ 5.115687
5	$I \times -\frac{X_1}{n}$ -1.54621259	-675.6949	-1044.767961	-894.185410 20.861299
II	$\frac{2+5}{X_2}$	0	Sx_1 0.497180	$Sx_1 x_2$ 0.222593 $Sx_1 y$ 1.155747
6	$I \times -\frac{n}{X_2}$ -1.32335675	-578.3069	-894.185410	-765.306340 Sx_2^2 17.854557
7	$\frac{3+6}{Sx_1 x_2}$ -0.44771109	0	0.222593	1.291987 $Sx_2 y$ 1.761800
III	$\frac{3+6+7}{Y}$		0	ξ 1.192330 η 1.244359
8	$I \times -\frac{n}{0.03087384}$	13.49187	20.861299	17.854557 -0.416546
9	$\frac{4+8}{Sx_1 y}$ -2.32460477	0	$Sx_1 y$ 1.155747	$Sx_2 y$ 1.761800 Sy^2 4.699141
10	$4+8+9$		0	0.244359 2.012486
III	$\times -\frac{\eta}{\xi}$ -1.04363641			-1.244359 -1.298658
IV	$4+8+9+10$			0 0.713828
b_2	1.043636		$Sy x_1 x_2^2 = 0.001645$	
b_1	1.857357		$Sy^2 = 3.985313$	
a'	-4.283847			

C_2	C_1	C_s	計
1			
	1		
		1	
<hr/>			
-1.546213			
-1.546213	1		
-1.323357			
-1.323357		1	
0.692257	-0.447711		
-0.631100	-0.447711	1	
0.030874			
0.030874			
3.594334	-2.324605		
3.625208	-2.324605		
0.658639	0.467248	-1.43636	
4.283847	-1.857357	-1.043636	
<hr/>			
<hr/>			

第6表

(その 5)

(直径42~50cm)

	A	B	C	1
1	[n] 191	[X ₁] 315.4859	[X ₂] 258.8268	[Y] 34.86073
2	[X ₁] 315.4859	[X ₁ ²] 521.247791	[X ₁ X ₂] 427.574757	[X ₁ Y] 57.881561
3	[X ₂] 258.8268	[X ₂] 427.574757	[X ₂ ²] 351.078871	[X ₂ Y] 47.706577
4	[Y] 34.86073	[X ₁ Y] 57.881561	[X ₂ Y] 47.706577	[Y ₂] 7.689540
5 I × -	$\frac{X_1}{n}$ -1.65175864	-315.4859	-521.106561	-427.519402
II	2 + 5	0	Sx ₁ ² 0.141230	Sx ₁ y 0.055355
6 I × -	$\frac{X_2}{n}$ -1.35511414	-258.8268	-427.519402	-350.739856
III	3 + 6	0	Sx ₁ x ₂ 0.055355	Sx ₂ ² 0.339015
7 II × -	$\frac{Sx_1 x_2}{Sx_1^2}$ -0.39194930		-0.0553550	-0.021696
III	3 + 6 + 7		0	0.317319
8 I × -	$\frac{Y}{n}$ -0.18251691	-34.86073	-57.581512	-47.240268
IV	4 + 8	0	Sx ₁ y 0.300049	Sx ₂ y 0.466309
9 II × -	$\frac{Sx_1 y}{Sx_1^2}$ -2.12454153		-0.300049	-0.117604
IV	4 + 8 + 9		0	0.348705
10 II × -	$\frac{\eta}{\xi}$ -1.09890993			-0.348705
VII	4+8+9+10		0	Sd _{y x₁ x₂} 0.306205
b ₂	1.98910		S _{y x₁ x₂} ² = 0.001629	
b ₁	1.693825		S _{ŷ} = 1.020662	
a'	-4.104421			

C_2	C_1	C_8	計
1			
	1		
		1	
-1.651759			
-1.651759	1		
-1.355114			
-1.355114		1	
0.647406	-0.391949		
-0.707708	-0.391949	1	
-0.182517			
-0.182517			
3.509231	-2.124542		
3.326714	-2.124542		
0.777707	0.430717	-1.098910	
4.104421	-1.693825	--1.098910	

第6表

(その 6)

(直径52~76cm)

	A	B	C	I
1	[n] 64	[X ₁] 111.7317	[X ₂] 87.8855	[Y] 22.87361
2	[X ₁] 111.7317	[X ₁ ²] 195.164470	[X ₁ X ₂] 153.434477	[X ₁ Y] 40.111626
3	[X ₂] 87.8855	[X ₁ X ₂] 153.434477	[X ₂ ²] 120.772746	[X ₂ Y] 31.504907
4	[Y] 22.87361	[X ₁ Y] 40.111626	[X ₂ Y] 31.504907	[Y ²] 8.680677
5	I × $\frac{X_1}{n}$ -1.74580781	-111.7317	-195.062074	-153.431192 -39.932927
II	$\frac{2+5}{X_2}$	0	Sx ₂ ² 0.102396	Sx ₁ x ₂ 0.003285
6	I × $\frac{X_2}{n}$ -1.37321094	-87.8855	-153.431192	-120.685330 -31.410291
7	$\frac{3+6}{Sx_1 x_2}$ -0.03208133	0	0.003285 -0.003285	Sx ₂ y 0.087416 -0.000105
III	$\frac{3+6+7}{Y}$	0	0	0.087311 -31.410291
8	I X - $\frac{Y}{n}$ -0.35740016	-22.87361	-39.932927	-8.175032
9	II × $\frac{Sx_1 y}{Sx_1^2}$ -1.74517559	0	0.178699 -0.178699	S ₂ y 0.094616 -0.005733
10	4 + 8 + 9 III × $\frac{\eta}{\xi}$ -1.01800460	0	0	0.193784 -0.090483
IV	4 + 8 + 9 + 10			0.103301
b ₂	1.018005		S ₂ y x ₁ x ₂ ² = 0.001693	
b ₁	1.712517		S \hat{y}^2 = 0.402344	
a'	-4030261			

C	C_x	C_s	計
1	1	1	
-1.745808			
-1.745808	1		
-1.373211			
-1.373211		1	
0.056008	-0.032081		
-1.317203	-0.032081	1	
-0.357400			
-0.357400			
3.046742	-1.745176		
2.689342	-1.745176		
1.340919	0.032659	-1.018005	
4.030261	-1.712517	-1.018005	

第8表 10cm直径級別，和，二乗和，積和，平方和，回帰係数等

直 径 級	<i>n</i>	<i>f</i> γ	<i>SX₁</i> ($\log x_1$)	<i>SX_{1^2}</i>	<i>SX₂</i> ($\log x_2$)	<i>SX_{2^2}</i>	<i>SY</i> ($\log y$)
4 ~ 10	412	409	358.2391	316.295770	318.5040	255.535670	-741.66166
1 2 ~ 2 0	302	299	356.4469	422.914269	311.6578	327.678383	-298.17801
2 2 ~ 3 0	390	387	553.4779	786.346795	488.0462	613.076135	-131.58590
3 2 ~ 4 0	437	434	675.6949	1,045.265141	578.3069	766.598327	-13.49187
4 2 ~ 5 0	191	188	315.4859	521.247791	258.8268	351.078871	34.86073
5 2 ~ 7 6	64	61 1.778 又は 1.793	111.7317	195.164470	87.8855	120.772746	22.87361
4 ~ 7 6	1.796		2,371.0764	3,287.234236	2,043.2272	2,434.740132	-1,127.18310

直 径 級	<i>n</i>	<i>Sx_{1^2}</i>	<i>Sx_{2^2}</i>	<i>Sx₁ x₂</i>	<i>Sx_{1y}</i>	<i>Sx_{2y}</i>
4 ~ 1 0	412	4.802438	9.310432	4.110187	12.317659	15.356736
1 2 ~ 2 0	302	2.204359	6.053932	2.056296	5.965063	9.302135
2 2 ~ 3 0	390	0.865294	2.334871	0.506537	2.132254	3.423747
3 2 ~ 4 0	437	0.497180	1.291987	0.222593	1.155747	1.761800
4 2 ~ 5 0	191	0.141230	0.339015	0.055355	0.300049	0.466309
5 2 ~ 7 6	64	0.102396	0.087416	0.003285	0.178699	0.094616
4 ~ 7 6	1.796	156.942872	110.253840	122.036477	403.244832	327.810977

直 径 級	<i>n</i>	回 帰 係 数			<i>Sy</i> x ₁ x ₂ ²	<i>Sy</i> x ₁ x ₂
		<i>a'</i>	<i>b₁</i>	<i>b₂</i>		
4 ~ 1 0	412	-4.054355	1.853532	0.831151	0.002600	0.050902
1 2 ~ 2 0	302	-4.118851	1.862972	0.903761	0.003023	0.054982
2 2 ~ 3 0	390	-4.283461	1.839403	1.067306	0.001871	0.043255
3 2 ~ 4 0	437	-4.283847	1.857357	1.043636	0.001645	0.040559
4 2 ~ 5 0	191	-4.104421	1.693825	1.098910	0.001629	0.040361
5 2 ~ 7 6	64	-4.030261	1.712517	1.018005	0.001693	0.041146
4 ~ 7 6	1.796	-4.122776	1.847796	0.927972	0.002247	0.047403

SY^2	$SX_1 Y$	$SX_2 Y$	$SX_1 X_2$			
1,371.760152	-632.566336	-557.998131	281.053358			
314.827898	-345.970790	-298.411450	369.902180			
52.697375	-184.611047	-161.242915	693.129064			
5.115687	-19.705552	-16.092757	894.408003			
7.689540	57.881561	47.706577	427.574757			
8.680677	40.111626	31.504907	153.434477			
1760.771329	-1084.860538	-954.533769	2,819.501839			
Sy^2	$\left(\frac{(Sx_1 x_2)}{Sx_1^2 Sx_2^2} \right)$	$\left(\frac{Sx_{1y}}{Sx_1^2 Sy^2} \right)$	$\left(\frac{Sx_{2y}}{Sx_2^2 Sy^2} \right)$	$\left(-\frac{S \hat{y}^2}{Sy^2} \right)$	$S \hat{y}^2 - Sy^2 - S^2 y x_1 x_2$	$(d^2) (Sd^2 y x_1 x_2)$
36.658167	0.614675	0.928350	0.831244	0.9709962	35.594941	1,063226
20.423510	0.562892	0.889014	0.836563	0.9557448	19.519664	0.903846
8.300327	0.356367	0.795626	0.777718	0.9127664	7.576260	0.724067
4.699141	0.277731	0.756130	0.715020	0.8480939	3.985313	0.713828
1.326867	0.252978	0.693131	0.695265	0.7692270	1.020662	0.306205
0.505645	0.034721	0.785341	0.450038	0.7957045	0.402344	0.103301
1,053.342739	0.927730	0.991775	0.961926	0.9961748	1,049.313559	3.814473 (4.029180)
重相関係数 $R = \sqrt{\frac{S \hat{y}^2}{Sy^2}}$						
0.985391						
0.977622						
0.955388						
0.920920						
0.877056						
0.892023						
0.998086						

第9表 新旧材積表の比較 但し V' 新材積表 (胸高直径 1.20m)
現行材積表 (\times 胸高直径 1.30m) $H = 10m$

D	V	V'	$\frac{V}{V'} \times 100$	%	D	V
4	0.008	0.009	89		4	0.014
6	0.017	0.018	94		6	0.030
8	0.028	0.031	90		8	0.051
10	0.043	0.047	91		10	0.076
2	0.063	0.065	97		2	0.118
4	0.084	0.086	98		4	0.157
6	0.108	0.111	97		6	0.201
8	0.134	0.139	96		8	0.251
20	0.163	0.169	96		20	0.305
2	0.185	0.203	91		2	0.377
4	0.211	0.240	88		4	0.443
6	0.245	0.280	88		6	0.513
8	0.281	0.323	78		8	0.588
30	0.318	0.369	86		30	0.667
2	0.360	0.417	86		2	0.752
4	0.400	0.470	85		4	0.834
6	0.441	0.526	84		6	0.920
8	0.483	0.584	83		8	1.009
40	0.528	0.645	82		40	1.102
2	0.574	0.710	81		2	1.198
4	0.621	0.777	80		4	1.297
6	0.670	0.848	79		6	1.399
8	0.721	0.922	78		8	1.505
50	0.773	0.997	78		50	1.614
2	0.827	1.087	76		2	1.726
4	0.882	1.160	76		4	1.841
6	0.938	1.245	75		6	1.959
					8	2.080
					60	2.204
					2	2.332
					4	2.462
					6	2.595
					8	2.731
					70	2.869

$H = 20m$ $H = 30m$

V'	$\frac{V}{V'} \times 100$	%	D	V	V'	$\frac{V}{V'} \times 100$	%
0.034	88						
0.058	88						
0.089	85						
0.123	96		12	0.170	0.176		97
0.165	95		4	0.226	0.234		97
0.211	95		6	0.290	0.300		97
0.263	95		8	0.362	0.374		97
0.321	95		20	0.440	0.456		96
0.385	98		2	0.581	0.546		106
0.455	97		4	0.682	0.644		106
0.530	97		6	0.791	0.751		105
0.612	96		8	0.906	0.867		104
0.699	95		30	1.029	0.990		104
0.791	95		2	1.157	1.119		103
0.890	94		4	1.283	1.260		102
0.995	92		6	1.415	1.408		100
1.105	91		8	1.552	1.564		99
1.221	90		40	1.694	1.727		98
1.307	92		2	1.842	1.899		97
1.471	88		4	1.994	2.081		96
1.604	87		6	2.152	2.269		95
1.743	86		8	2.314	2.465		94
1.887	86		50	2.482	2.668		93
2.037	85		2	2.654	2.881		92
2.194	84		4	2.831	3.102		91
2.355	83		6	3.013	3.329		91
2.521	83		8	3.199	3.563		90
2.692	82		60	3.390	3.804		89
2.868	81		2	3.586	4.053		88
3.053	81		4	3.786	4.314		88
3.240	80		6	3.991	4.578		87
3.436	79		8	4.200	4.855		87
3.633	79		70	4.413	5.132		86

函館營林局ヒバ幹材積表 (1)

26	28	30	32	34	36	38	40	42	44	46	48
0.117	0.134	0.152	0.173	0.191	0.211	0.232	0.253	0.275	0.298	0.321	0.345
0.142	0.163	0.185	0.209	0.232	0.256	0.281	0.307	0.334	0.361	0.390	0.419
0.167	0.192	0.218	0.247	0.274	0.302	0.331	0.361	0.393	0.425	0.459	0.494
0.193	0.221	0.251	0.284	0.315	0.348	0.381	0.416	0.453	0.490	0.529	0.569
0.219	0.251	0.285	0.322	0.357	0.394	0.432	0.472	0.513	0.555	0.599	0.645
0.245	0.281	0.318	0.360	0.400	0.441	0.483	0.528	0.574	0.621	0.670	0.721
0.271	0.311	0.353	0.399	0.442	0.488	0.535	0.584	0.635	0.687	0.742	0.798
0.297	0.341	0.387	0.437	0.485	0.535	0.587	0.641	0.696	0.754	0.813	0.875
0.324	0.371	0.421	0.476	0.528	0.582	0.639	0.697	0.758	0.821	0.886	0.953
0.350	0.402	0.456	0.515	0.571	0.630	0.691	0.754	0.820	0.888	0.958	1.031
0.377	0.432	0.491	0.554	0.615	0.678	0.744	0.812	0.882	0.955	1.031	1.109
0.404	0.463	0.526	0.593	0.658	0.726	0.796	0.869	0.945	1.023	1.104	1.187
0.431	0.494	0.561	0.633	0.702	0.774	0.849	0.927	1.008	1.091	1.177	1.266
0.458	0.525	0.596	0.673	0.746	0.823	0.902	0.985	1.071	1.159	1.251	1.346
0.486	0.556	0.632	0.712	0.790	0.871	0.956	1.043	1.134	1.228	1.325	1.425
0.513	0.588	0.667	0.752	0.834	0.920	1.009	1.102	1.198	1.297	1.399	1.505
0.540	0.619	0.703	0.792	0.879	0.969	1.063	1.160	1.261	1.366	1.474	1.585
0.568	0.651	0.739	0.832	0.923	1.018	1.117	1.219	1.325	1.435	1.548	1.665
0.595	0.682	0.775	0.872	0.968	1.067	1.171	1.278	1.389	1.504	1.623	1.746
0.623	0.714	0.811	0.913	1.012	1.116	1.225	1.337	1.453	1.574	1.698	1.826
0.651	0.746	0.847	0.953	1.057	1.166	1.279	1.396	1.518	1.643	1.773	1.907
0.679	0.778	0.883	0.994	1.102	1.216	1.333	1.450	1.582	1.713	1.849	1.988
0.707	0.810	0.919	1.034	1.147	1.265	1.388	1.515	1.647	1.783	1.924	2.069
0.734	0.842	0.956	1.075	1.193	1.315	1.442	1.575	1.712	1.854	2.000	2.151
0.762	0.874	0.992	1.116	1.238	1.365	1.497	1.634	1.777	1.924	2.076	2.233
0.791	0.906	1.029	1.157	1.283	1.415	1.552	1.694	1.842	1.994	2.152	2.314
0.819	0.938	1.065	1.198	1.329	1.465	1.607	1.754	1.907	2.065	2.228	2.396
0.847	0.971	1.102	1.239	1.374	1.515	1.662	1.815	1.972	2.136	2.305	2.479
0.875	1.003	1.139	1.280	1.420	1.561	1.717	1.875	2.038	2.207	2.381	2.561
0.904	1.036	1.176	1.321	1.466	1.616	1.773	1.935	2.104	2.278	2.458	2.643
0.932	1.068	1.213	1.362	1.511	1.667	1.828	1.996	2.169	2.349	2.535	2.726
0.960	1.101	1.250	1.404	1.557	1.717	1.884	2.056	2.235	2.420	2.612	2.809
0.989	1.133	1.287	1.445	1.603	1.768	1.939	2.117	2.301	2.492	2.689	2.892
1.017	1.166	1.324	1.487	1.649	1.819	1.995	2.178	2.367	2.563	2.766	2.975
1.046	1.199	1.361	1.528	1.695	1.869	2.051	2.239	2.433	2.635	2.843	3.058
1.075	1.232	1.398	1.570	1.742	1.920	2.106	2.300	2.500	2.707	2.921	3.141

函館營林局ヒバ幹材積表(2)

直徑 樹高	50	52	54	56	58	60	62	64	66	68	70
3											
4											
5	0.370	0.396	0.422	0.450	0.477	0.506	0.535	0.565	0.596	0.627	0.659
6	0.449	0.481	0.513	0.546	0.579	0.614	0.649	0.686	0.723	0.761	0.799
7	0.529	0.566	0.604	0.643	0.682	0.723	0.765	0.808	0.851	0.896	0.941
8	0.610	0.652	0.696	0.741	0.786	0.833	0.881	0.931	0.981	1.032	1.085
9	0.691	0.739	0.789	0.839	0.891	0.944	0.999	1.055	1.111	1.170	1.229
10	0.773	0.827	0.882	0.938	0.997	1.056	1.117	1.179	1.243	1.308	1.375
1	0.855	0.915	0.976	1.038	1.103	1.168	1.236	1.305	1.375	1.447	1.521
2	0.938	1.003	1.070	1.139	1.209	1.282	1.356	1.431	1.509	1.588	1.668
3	1.021	1.092	1.165	1.240	1.317	1.395	1.476	1.558	1.642	1.728	1.816
4	1.105	1.182	1.261	1.341	1.424	1.509	1.596	1.686	1.777	1.870	1.965
5	1.189	1.272	1.356	1.443	1.533	1.624	1.718	1.814	1.912	2.012	2.114
6	1.273	1.362	1.452	1.546	1.641	1.739	1.840	1.942	2.047	2.155	2.264
7	1.358	1.452	1.549	1.649	1.750	1.855	1.962	2.071	2.183	2.298	2.415
8	1.443	1.543	1.646	1.752	1.860	1.971	2.085	2.201	2.320	2.442	2.566
9	1.528	1.634	1.743	1.855	1.970	2.088	2.208	2.331	2.457	2.586	2.717
20	1.614	1.726	1.841	1.959	2.080	2.204	2.332	2.462	2.595	2.731	2.869
1	1.700	1.817	1.939	2.063	2.191	2.322	2.455	2.592	2.733	2.876	3.022
2	1.786	1.909	2.037	2.168	2.302	2.439	2.580	2.722	2.871	3.021	3.175
3	1.872	2.002	2.135	2.272	2.413	2.557	2.704	2.855	3.010	3.167	3.328
4	1.958	2.094	2.234	2.377	2.524	2.675	2.830	2.987	3.149	3.314	3.482
5	2.045	2.187	2.333	2.483	2.636	2.794	2.955	3.120	3.288	3.461	3.636
6	2.132	2.280	2.432	2.588	2.748	2.912	3.080	3.252	3.428	3.608	3.791
7	2.219	2.373	2.531	2.694	2.861	3.031	3.206	3.385	3.568	3.755	3.946
8	2.307	2.467	2.631	2.800	2.973	3.151	3.333	3.519	3.709	3.903	4.101
5	2.394	2.560	2.731	2.906	3.086	3.270	3.459	3.652	3.849	4.051	4.257
30	2.482	2.654	2.831	3.013	3.199	3.390	3.586	3.786	3.991	4.200	4.413
1	2.570	2.748	2.931	3.120	3.313	3.510	3.713	3.920	4.132	4.348	4.569
2	2.658	2.842	3.032	3.227	3.426	3.631	3.840	4.054	4.274	4.497	4.726
3	2.746	2.937	3.133	3.334	3.540	3.751	3.968	4.189	4.416	4.647	4.883
4	2.835	3.031	3.233	3.441	3.654	3.872	4.093	4.324	4.558	4.796	5.040
5	2.923	3.126	3.335	3.549	3.768	3.993	4.223	4.459	4.700	4.946	5.198
6	3.012	3.221	3.436	3.656	3.883	4.114	4.352	4.595	4.843	5.097	5.356
7	3.101	3.316	3.537	3.764	3.997	4.236	4.480	4.730	4.986	5.247	5.514
8	3.190	3.411	3.639	3.872	4.112	4.357	4.609	4.866	5.129	5.398	5.672
9	3.279	3.507	3.740	3.981	4.227	4.479	4.738	5.002	5.272	5.549	5.831
40	3.368	3.602	3.842	4.089	4.342	4.601	4.867	5.138	5.416	5.700	5.990
1		3.698	3.944	4.198	4.457	4.723	4.996	5.275	5.560	5.851	6.149
2		3.794	4.047	4.306	4.573	4.846	5.125	5.411	5.704	6.003	6.308
3		3.890	4.149	4.415	4.688	4.968	5.255	5.548	5.848	6.155	6.467
4		3.986	4.252	4.524	4.804	5.091	5.385	5.685	5.993	6.307	6.627
5		4.082	4.354	4.634	4.920	5.214	5.515	5.823	6.137	6.459	6.787

72	74	76	78	80	82	84	86	88	90		
0.691	0.724	0.758	0.792	0.828							
0.839	0.879	0.920	0.962	1.004							
0.988	1.035	1.083	1.133	1.183							
1.138	1.193	1.248	1.305	1.363							
1.290	1.352	1.415	1.479	1.545							
1.443	1.512	1.582	1.654	1.727							
1.596	1.673	1.751	1.830	1.911	1.994	2.078	2.163	2.250	2.338		
1.751	1.835	1.920	2.007	2.096	2.187	2.279	2.372	2.468	2.564		
1.906	1.997	2.091	2.185	2.282	2.381	2.481	2.583	2.686	2.792		
2.062	2.161	2.262	2.364	2.469	2.576	2.684	2.794	2.906	3.020		
2.219	2.325	2.434	2.544	2.657	2.771	2.888	3.007	3.127	3.250		
2.376	2.490	2.606	2.725	2.845	2.968	3.093	3.220	3.349	3.480		
2.534	2.655	2.779	2.906	3.034	3.165	3.298	3.434	3.572	3.712		
2.692	2.822	2.953	3.087	3.224	3.363	3.505	3.649	3.795	3.944		
2.851	2.988	3.128	3.270	3.415	3.562	3.712	3.864	4.019	4.177		
3.011	3.156	3.303	3.453	3.606	3.761	3.919	4.080	4.244	4.411		
3.171	3.323	3.478	3.636	3.797	3.961	4.128	4.297	4.470	4.645		
3.332	3.492	3.655	3.821	3.990	4.162	4.337	4.515	4.696	4.880		
3.493	3.660	3.831	4.005	4.182	4.363	4.546	4.733	4.923	5.116		
3.654	3.829	4.008	4.190	4.376	4.565	4.757	4.952	5.151	5.352		
3.816	4.003	4.186	4.376	4.570	4.767	4.967	5.171	5.379	5.589		
3.978	4.169	4.364	4.562	4.764	4.969	5.178	5.391	5.607	5.827		
4.141	4.340	4.543	4.749	4.959	5.173	5.390	5.612	5.837	6.065		
4.304	4.510	4.721	4.935	5.154	5.376	5.602	5.833	6.066	6.304		
4.467	4.682	4.900	5.123	5.349	5.580	5.815	6.054	6.297	6.543		
4.631	4.853	5.080	5.310	5.545	5.785	6.028	6.276	6.528	6.783		
4.795	5.025	5.260	5.499	5.742	5.990	6.242	6.498	6.759	7.024		
4.959	5.197	5.440	5.687	5.939	6.195	6.456	6.721	6.990	7.264		
5.124	5.370	5.621	5.876	6.136	6.401	6.670	6.944	7.223	7.506		
5.289	5.543	5.802	6.065	6.334	6.607	6.885	7.168	7.455	7.747		
5.454	5.716	5.983	6.255	6.532	6.813	7.100	7.392	7.688	7.989		
5.620	5.890	6.165	6.445	6.730	7.020	7.316	7.616	7.922	8.232		
5.786	6.063	6.347	6.635	6.929	7.227	7.532	7.841	8.155	8.475		
5.952	6.238	6.529	6.825	7.128	7.435	7.748	8.066	8.390	8.718		
6.119	6.412	6.711	7.016	7.327	7.643	7.964	8.292	8.624	8.962		
6.285	6.587	6.894	7.207	7.526	7.851	8.182	8.518	8.859	9.206		
6.452	6.762	7.077	7.399	7.726	8.060	8.399	8.744	9.095	9.451		
6.619	6.937	7.261	7.591	7.927	8.269	8.616	8.970	9.330	9.696		
6.787	7.112	7.444	7.783	8.127	8.478	8.834	9.197	9.566	9.941		
6.954	7.288	7.628	7.975	8.328	8.687	9.053	9.424	9.803	10.187		
7.122	7.464	7.813	8.167	8.529	8.897	9.271	9.652	10.039	10.433		

資料採集箇所の地況林況一覧表 (1)

旧 林 小 班	作 業 級	面 積	地 況									
			地 位	地 利	方 位	傾 斜	基 岩	土 性	深 度	結 合 度	湿 度	摘 要
俄 虫	229v、	択	7 52	ブナ 2	1	E～N E又は S E	中	南半部古生層 北半部新第三紀層	埴壌土	中	軟	適
	231v、	択	24 11	ブナ 1	1	W 一部E	急	新第三紀層	埴壌土	浅	軟	適
江 差	109v、	択	40 48	ヒバ 1	1	S W	中	古生層粘板岩	砂質壤土	浅	軟	適
	81v、	択	71 05	ブナ 3	1	S S E S W	緩	古成層粘板岩	砂質壤土	中	軟	適

林況												備考		
樹種	混交歩合%	林令	疎密度	直徑cm	樹高m	林種	林相	摘要	材積		連年成長量			
									調査別	総m³	ha当m³	総m³	ha当m³	
ヒバ	20	100 20~260		24 6~50	18 6~20			目	90	12	1.5	0.20		
トドマツ	5			26 6~50	18 6~24			N計	22	3	0.4	0.05		
N 計	25			26 6~40	18 6~24			N計	112		1.9	0.25		
ブナ	55			28 6~60	20 6~24	天	混		247	33	3.2	0.43		
広	20								90	12	1.3	0.17		
L 計	75								337		4.5	0.60		
計	100								449	60	6.4	0.85		
ヒバ	45	120 20~260		24 6~60	18 6~25			標	1.421	59	22.7	0.94		
トドマツ	5			24 6~60	18 6~25			昭6.7.9.伐跡地	145	6	2.3	0.10		
N 計	50			22 6~60	17 6~24			N計	1.566		25.0	1.04		
ブナ	40			26 6~70	18 6~25	天	混		1.253	52	16.3	0.68		
広	10								313	13	4.1	0.17		
L 計	50								1.566		20.4	0.85		
計	100								3.132	130	45.4	1.89		
ヒバ	45	130 30~260		20 4~60	14 4~26			上一部にあり3成年良好な木らず	N標	2.743	68	38.4	0.95	
N 計	45			22 4~70	13 4~22				N標	2.420	60	33.9	0.84	
ブナ	40			22 4~70	13 4~22					887	22	11.5	0.29	
広	15		密	22 4~70	13 4~22	天	混			3.307	82	45.4	1.13	
L 計	55									6.050	150	83.8	2.08	
計	100													
ゴヨウマツ	2	140 30~280		22 4~60	14 4~24			標	212	3	3.2	0.05		
ヒバ	10			22 4~60	14 4~24				1.062	15	17.0	0.24		
N 計	12			28 4~70	17 4~22			N	1.274	18	20.2	0.29		
ブナ	50			28 4~70	17 4~22	天	広		5.309	75	74.3	1.05		
広	38			28 4~70	17 4~22				4.035	57	52.5	0.74		
L 計	88							L	9.344	132	126.8	1.79		
計	100								10.618	150	147.0	2.08		
									10.618		147.0			

資料採集箇所の地況林況一覧表 (2)

旧 林 小 班	作 業 級	面 積	地 方 傾 基 土 深 結 溼 概									
			地 位	地 利	方 位	傾 斜	基 岩	土 性	深 度	結 合 度	溼 度	概 要
江 差	339	皆	76	82	ブナ 2	1	S NW	緩	砂壤土	中	軟	適
	23い	択	38	86	ヒバ 2	1	N	中	砂質壤土	浅	軟	適

林況												備考	
樹種	混交歩合%	林令	疎密度	直徑cm	樹高m	林種	林相	摘要	材積		連年成長量		
									調査別	総m³	ha當m³	総m³	ha當m³
ヒバ	20	120 20~260	密	16	11 4~60 24 4~70 24 4~70	天 広	N	L	1.954 50 2.004 4.886 2.932 7.818 9.822 9.822	26 0.8 26 65 39 104 130 135.7	31.3 0.8 32.1 68.4 35.2 103.6 135.7 135.7	0.42 0.42 0.42 0.91 0.47 1.38 1.80	
トドマツ				4~26	15 4~26								
N 計	20			4~26									
ブナ	50			14 4~22									
広	30			14 4~22									
L 計	80												
計	100												
ヒバ	65	130 20~250		24 4~60	18 4~26				N	5.231 1.604	137 42	78.5 20.9	2.06 0.55
N 計	65			22 4~60	15 4~22				標				
ブナ	20			24 4~70	15 4~22				L	1.184 2.788	31 73	14.2 35.1	0.37 0.92
広	15												
L 計	35									8.019	210	113.6	2.98
計	100												

昭和36年9月1日 印刷
昭和36年9月15日 発行

函館営林局ヒバ立木幹材積表
調製説明書

発行 函館営林局
函館市駒場町14番地

印刷 富山印刷所
函館市弁天町38番地